

令和5・6年度 栃木県PTA連合会委嘱

研究 P T A 研究紀要

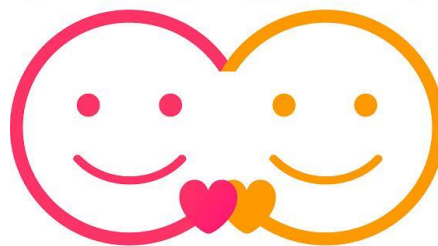
研究主題

「学校・家庭・地域」と協働・連携したPTA活動の促進

～とちぎ未来アシストネット事業との連携をとおして～



き・ず・な・む・す・ぶ



とちぎ未来

ASSISTNET



栃木市PTA連合会

目 次

あいさつ

栃木県PTA連合会長 揚石 哲司
栃木市PTA連合会長 熊倉 弘之

I 栃木市・栃木市PTA連合会・とちぎ未来アシストネット事業の概要

1 栃木市の概要	1
2 栃木市PTA連合会の概要	1
3 とちぎ未来アシストネット事業の概要	1

II 研究の概要

1 研究主題	3
2 研究主題設定の理由	3
3 研究方針	3
4 研究の組織	4
5 研究内容	4
6 研究計画	5

III 研究の実際

1 PTAとアシストネットが連携する上での課題の明確化と取組の結果について	6
2 第1回アンケート結果と考察	6
3 課題解決に向けた取組	12
(1) アシストネット事業の認知度向上のための取組	12
(2) PTA総会やPTA役員会での説明会の開催及び広報紙の作成	14
(3) 連携活動の拡大と普及、地域のボランティアとの連携強化の取組	16
(4) PTA（保護者）と地域住民が共同でボランティア活動を行う場の設定	19
(5) PTA組織の見直しやPTA行事の在り方の検討	25
4 取組の結果	
(1) 第2回アンケートの結果	27

IV 成果と今後の課題

1 成果	34
2 課題	35

○ あとがき	36
--------	----

○ 資料

- 1 とちぎ未来アシストネット事業ボランティア募集チラシ（保護者用）
- 2 とちぎ未来アシストネット事業ボランティア募集チラシ（地域住民用）
- 3 とちぎ未来アシストネット事業リーフレット（事業説明用）

あいさつ

栃木県PTA連合会 会長 揚石 哲司

PTAは、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長を支えることを目的に活動してまいりました。しかし近年、社会の変化とともにPTA活動の在り方も問われるようになっており、その背景には少子化による会員数の減少、共働き世帯の増加に伴う役員負担の偏り、そしてコロナ禍を経ての活動の見直しなど、多くの課題が浮かび上がっています。そのような状況の中、地域との連携を深め、より柔軟で持続可能なPTA活動を目指すことが重要となっています。

栃木市PTA連合会が取り組んだ本研究では、「とちぎ未来アシストネット（以下、アシストネット）」との協働に焦点を当て、PTAと地域がともに子どもたちの成長を支えるための新たな可能性を探っていることに感銘を受けました。アシストネットは、地域の力を活かし、学校支援活動を推進する仕組みです。PTA活動とアシストネットが連携することで、学校教育の支援のみならず、地域の教育力の向上や保護者同士のつながりの強化にもつながることが期待されます。本研究では、その橋渡しとしての実践例や課題が詳細にまとめられ、今後のPTA活動の発展に向けた貴重な資料となっています。

2年間にわたる研究の実施にあたり、活動を支えてくださいました栃木県教育委員会、学校関係の皆様、ご尽力いただいた栃木市PTA連合会の皆様、栃木市教育委員会の皆様、各単位PTAの会長・役員の皆様、そして地域のボランティアの皆様に、心より感謝申し上げます。また、本研究によって得られた成果が、栃木市のみならず県内各地のPTA活動の活性化につながることを願っております。

私たちPTAは、子どもたちのために何ができるのかを常に考えながら、学校・家庭・地域の協力のもと、より良い教育環境を築いていく責務を担っています。これからも、互いに知恵を出し合い、連携を深めながら、時代に即したPTA活動を推進してまいります。本紀要がその一助となることを期待し、発刊のご挨拶とさせていただきます。

あいさつ

栃木市PTA連合会 会長 熊倉 弘之

栃木市PTA連合会は、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの健全な成長を支えることを目的に活動を続けてまいりました。近年、PTA活動を取り巻く環境は大きく変化しており、少子化による会員数の減少や保護者の多様なライフスタイルへの対応、さらにはコロナ禍を経た活動の在り方の見直しなど、さまざまな課題に直面しています。このような状況の中で、PTA活動の持続可能な発展を目指し、地域と連携した新たな支援体制を模索することしました。

その課題の解決を図るべく、「とちぎ未来アシストネット（以下、アシストネット）」との協働に焦点を当てた研究を進めて参りました。アシストネットは、地域住民の皆様の協力のもと、学校支援ボランティア活動を推進するシステムです。PTAとアシストネットが連携することで、子どもたちのために、どんなことができるのか。その可能性を探りながら、各学校での取組をもとに、PTA活動とアシストネットの協働がもたらす効果や課題を検証しました。

その結果、PTA活動の効率化が進み、役員の負担軽減につながっただけでなく、地域住民との交流が活発になり、子育てや教育に関する支援の輪が広がっていきました。さらに、学校・家庭・地域の連携が強化されたことで、子どもたちにとっても多様な学びの機会が提供され、学校を核とした地域づくりが進展するなどの成果が得られました。

今後は、本研究の成果を生かし、PTAとアシストネットの連携をさらに深め、よりよい教育環境を整えながら、子どもたちを育んでいきたいと考えています。

最後になりますが、本研究の実施にあたり、ご協力いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

I 栃木市・栃木市PTA連合会・とちぎ未来アシストネット事業の概要

1 栃木市の概要

栃木市は、栃木県南部に位置し、関東平野の一角を占める自然豊かな地域である。市の北部から南部にかけては、広大で平坦な地形が広がり、農業や都市開発が発展しやすい環境が整っている。また、南部にはラムサール条約に登録された「渡良瀬遊水地」が広がり、水と緑に囲まれた美しい自然景観が保たれている。この遊水地は、生態系の保全だけでなく、治水・利水の機能を有するとともに、環境や歴史学習の場としての役割も果たしている。

本市は、平成22年（2010年）から平成26年（2014年）にかけて、旧栃木市と大平町・藤岡町・都賀町・西方町・岩舟町の5町が合併し、新たな栃木市として誕生した。これにより、市域が拡大し、農業、商業、工業のバランスが取れた多様な地域特性を持つ自治体となった。また、歴史的に日光例幣使街道の宿場町として栄えた背景を持ち、伝統的な蔵造りの街並みが残る「蔵の街」としても知られ、年間を通じて多くの観光客が訪れている。

教育面においては、市内に公立小中学校が計42校（小学校29校、中学校13校）あり、それぞれの学校が地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開している。各学校では、学力向上の取り組みだけでなく、自然環境を生かした体験学習や、地域住民と連携したキャリア教育・郷土学習などが積極的に行われている。また、学校支援活動として「とちぎ未来アシストネット事業」の仕組みが導入され、地域住民の協力のもと、子どもたちの豊かな学びを支える取り組みが進められている。

これらの特色を持つ栃木市は、歴史と自然が調和した住みやすいまちとして、地域と一体となった教育の充実に力を注いでいる。

2 栃木市PTA連合会の概要

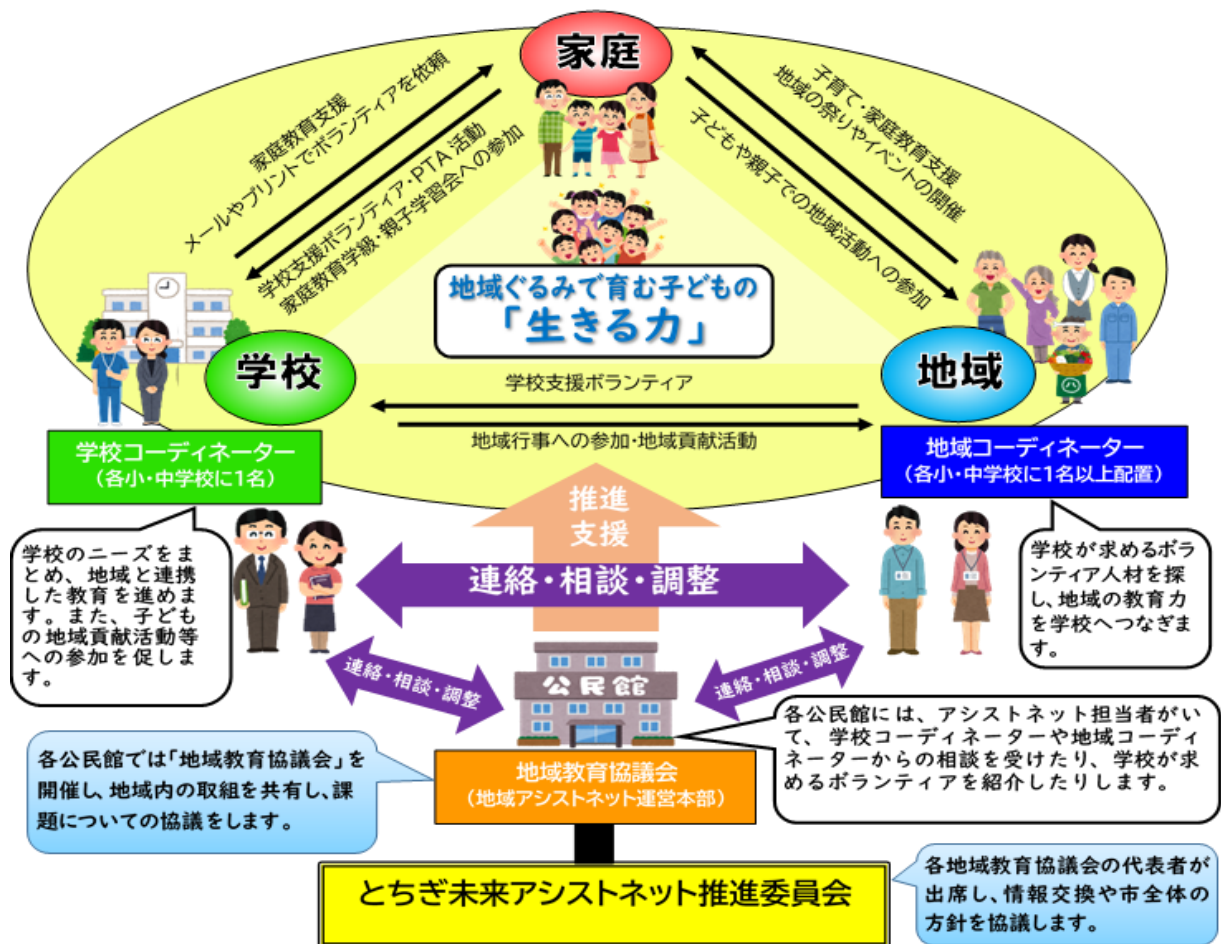
令和6年度のPTA会員数は、9,974名（令和6年5月1日現在）である。組織は、会長1名、副会長7名、庶務3名、会計3名、監事2名である。また、市全体を7つのブロックに分け、それぞれにブロック長1名（市P連副会長を兼ねる）、副ブロック長1名で組織され、事務局を栃木市教育委員会事務局生涯学習課内に置いている。

活動方針を「会員が協力して学校及び家庭における教育の振興に努め子どもたちの健やかな成長を図るよう活動を進めます」とし、栃木市PTA大学（栃木市家庭教育講演会を兼ねる）、会長研修会2回（内1回は、とちぎ未来アシストネットボランティア交流会を兼ねる）、ブロック研修会（各7ブロック）の事業を実施している。

また、各単位PTAにおいては、家庭教育学級や講演会、校外巡回、バザー、奉仕作業、リサイクル品回収等の事業の他、登下校の見守りや通学路点検を学校と協力して行っている。また、親同士の結びつきを強める学習活動や文化活動、スポーツ・レクリエーション活動を実施している単位PTAも多い。

3 とちぎ未来アシストネットの概要

栃木市教育委員会では、平成24年度に本市独自の教育システムとして、「とちぎ未来アシストネット事業（以下、アシストネット）」に取り組み始め、令和6年度で13年目になる。このアシストネットは、学校・家庭及び地域住民の連携並びに協力により、地域ぐるみで子育てを行うために、市内の全小中学校において実践されており、地域住民がもっている知識・技能や生涯学習の成果を生かし、学校・家庭・地域が密接に連携・協働した組織的なボランティア活動によって、学校教育活動の充実を図っている。現在、各小中学校では、このシステムが機能し学校支援ボランティア活動が活発に行われ、令和5年度の小中学校での学校支援ボランティア活動実施回数の合計は、12,856回となっている。



上図は、アシストネットの事業概要を示したものである。全ての小中学校には、地域との窓口である「学校コーディネーター」を配置して、そのほとんどが地域連携教員を担っている。また、地域のボランティアを把握し、学校と地域のコーディネートの役割を果たす「地域コーディネーター」が各小中学校に1名以上、市全体で70名（令和6年度）を市教育委員会が委嘱している。各公民館が「地域アシストネット運営本部」となり「アシストネット担当者」を配置し「その地域ならではの」特色ある教育活動を展開できるようにしている。

【参考】 栃木市コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の概要

栃木市教育委員会では、アシストネットによって構築されてきた学校と地域のパートナーシップを基盤に、平成29年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を全公立小中学校に導入した。委員には、校長、地域住民の他、保護者代表としてPTA会長が委員となっている学校が多い。また、アシストネットの地域コーディネーターがその学校の委員となり、PTA会長とともに地域との連携・協働のための議題の提案をするなど、「地域とともにある学校づくり」の架け橋となっている。

【参考】 ふれあい学習とPTA

栃木県では、平成13年度から、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちに「生きる力」を育むことはもちろん、家庭や地域の教育力の向上、地域の活性化を目指して、地域の様々な人々がこれまでの経験や学習から得た知識や技術を共に活かし合いながら、子どもと大人、大人同士、子ども同士がふれあい交流活動や体験活動、学習活動を「ふれあい学習」として、全県的に推進している。（中略）地域の大人が「学校支援ボランティア」活動を通して、学習活動を支援するとともに、子どもたちとの交流を深めている。

地域におけるふれあい学習の推進にあたっては、学校・家庭・地域の橋渡し役であるPTAが企画・運営の協力者として、また、経験や技能を活かした指導者として、関係団体や人を結ぶコーディネーターとして、共に学ぶ学習者として等、多様な形で参画することが期待される。

（「あすのPTAのためのハンドブック」栃木県教育委員会事務局生涯学習課より）

Ⅱ 研究の概要

1 研究主題

「学校・家庭・地域」と協働・連携したPTA活動の促進
～とちぎ未来アシストネット事業との連携をととして～

2 研究主題設定の理由

文部科学省が示している学習指導要領では、「子どもたちの『生きる力』をはぐくむという基本理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視し、家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが大切であり、保護者や地域の方々の協力がますます必要である」とし、学校では長年「生きる力」の育成を目指している。

PTAの目的は「児童生徒の健全な成長をはかること」であり、親と教師とが協力して学校および家庭における教育に関し理解を深め、その教育の振興に努めることである。また、PTAの理念は、「家庭」「学校」「地域」の三者が協働し合うための活動としている。

アシストネットの目的は「学校・家庭及び地域住民の連携並びに協力により、地域ぐるみで子育てを行うもの」であり、学校・家庭・地域が密接に連携・協働した組織的なボランティア活動によって、学校教育活動の充実を図っている。

以上のことから、PTA、アシストネットは、同一の目的をもって活動し、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの健全な育成を目指している活動であると言える。そして学校は、子どもたちの豊かな育ちを確保するために、地域の人々と目標を共有した上で、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指している。

市内の単位PTAの活動は、児童生徒の減少に伴いPTA会員も減少し、活動が制限されている。また、コロナ禍により中止となったPTA活動や行事がスムーズに再開できないなどの新たな課題が生じている。具体的には、これまでのPTA組織では人員が足りなくなり組織として成り立たないことや、PTA活動自体が縮小を余儀なくされ活動の機会が失われていることである。また、PTA主催のバザーや学校の環境整備の活動では、開催のためのノウハウが引き継がれていなかったり、役員の負担が大きく人員が配置できなかったりしている。

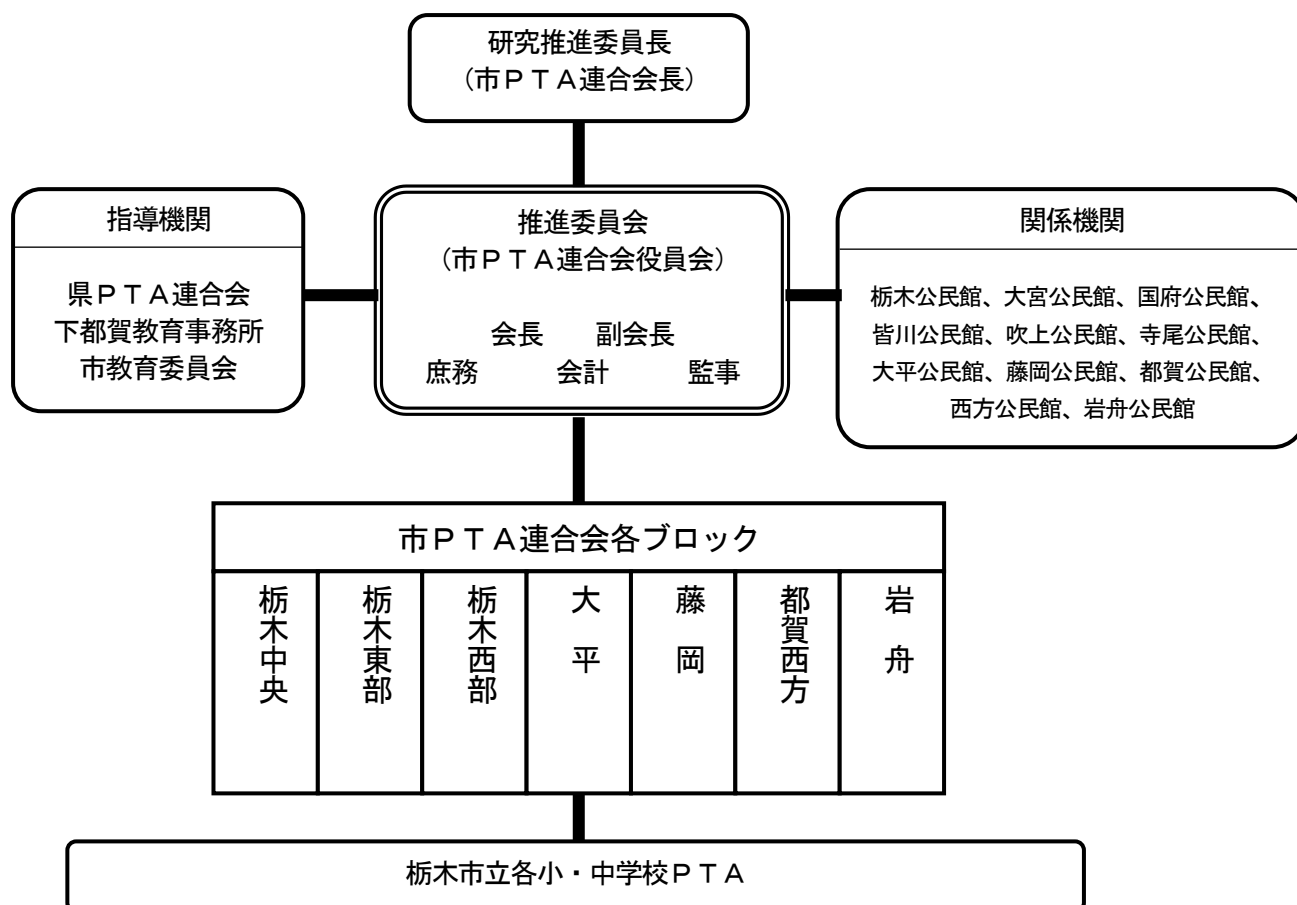
一方、アシストネットは事業を開始してから十数年経ちシステムとしては機能しているが、ボランティアの固定化・高齢化が進んでいることから、新たなボランティアの参加や世代交代が課題となっている。

そこで、これらの課題の解決を図るために、アシストネットの教育システムとPTAとの協働・連携を進めることで、学校・家庭・地域のつながりが今まで以上に深まり、子どもたちにとってよりよいPTA活動ができるのではないかと。また、「PTA活動をPTAと地域のボランティアが協働で行うことによるPTA（保護者）の負担軽減」「PTA（保護者）の学校支援ボランティア参加による学校との連携強化」さらに「PTA（保護者）と地域住民との関わりが増えることによって、子育ての悩みの相談等の家庭教育支援」などの効果も期待できるのではないかと考え、研究主題を『「学校・家庭・地域」と協働・連携したPTA活動の促進』、副題を「とちぎ未来アシストネット事業との連携をととして」と設定した。

3 研究方針

- (1) 第1回アンケートを実施し、PTAとアシストネットが連携する上での課題の明確化
- (2) アンケートの結果を考察し、課題解決に向けた取組を実施
- (3) 第2回アンケートを実施し、取組の結果を確認
- (4) 成果と今後の課題をまとめる

4 研究の組織



5 研究内容

- 1 アンケートの実施について
 - (1) アンケートの実施計画
 - (2) 結果の分析について
- 2 第1回アンケートの結果と考察
 - ・推進委員会（市PTA連合会役員会）でアンケートの分析
- 3 課題解決に向けた取組
 - (1) アシストネットの認知度向上の取組
 - ア リーフレットの作成
 - イ 説明会
 - (2) PTA総会や役員会での説明会の開催及び広報紙作成
 - ア PTA総会
 - イ PTAだより・アシストネットだより
 - (3) 連携活動の拡充と普及、地域のボランティアとの連携強化の取組
 - ア ボランティア交流会（兼PTA会長研修会）
 - イ 学校運営協議会
 - ウ 地域教育協議会
 - (4) PTA（保護者）と地域住民が共同でボランティア活動を行う場の設定
 - ア 保護者のボランティア募集
 - イ 学習支援ボランティアの実践
 - ウ 学校行事での取組

- エ 各種社会教育団体等主催のイベント
- (5) PTA組織の見直し、PTA行事の在り方の検討
- ア 単位PTAの組織改編
- イ 親父（おやじ）の会
- 4 取組の結果について
- (1) 第2回アンケートの結果

6 研究計画

【令和5年度】

- 5. 5. 2 5 総会 会長研修会 推進委員会（役員会）
- 6. 1 7 栃木市PTA大学 推進委員会（役員会）
- 9. 8 第1回アンケート実施
- 11. 3 大平ブロック研修会
- 11. 2 4 栃木中央ブロック研修会
- 6. 1. 2 7 西部ブロック研修会
- 2. 3 会長研修会（ボランティア交流会） 推進委員会（役員会）
- 2. 2 8 都賀西方ブロック研修会
- 通年 各学校にてPTAとアシストネットの連携事業

【令和6年度】

- 6. 4. 1 5 新旧役員会 推進委員長（役員会）
- 5. 2 4 総会 推進委員会（役員会）
- 6. 2 2 栃木市PTA大学 推進委員会（役員会）
- 10. 4 推進委員会（役員会）
- 11. 8 会長研修会 推進委員会（役員会）
- 12. 8 第2回アンケート実施
- 11. 1 6 都賀西方ブロック研修会
- 11. 2 2 東陽ブロック研修会
- 11. 2 5 栃木西ブロック研修会
- 11. 2 5 大平ブロック研修会
- 7. 1. 2 5 岩舟ブロック研修会
- 2. 1 会長研修会（ボランティア交流会） 推進委員会（役員会）
- 2. 2 1 栃木中央ブロック研修会
- 3. 7 推進委員会（役員会）
- 通年 各学校にてPTAとアシストネットの連携事業

Ⅲ 研究の実際

1 アンケートの実施について

(1) アンケートの実施計画

- ・第1回：R5. 9. 8 「PTA活動」と「とちぎ未来アシストネット事業」の連携についてのアンケートを実施【課題の明確化】
- ・第2回：R6. 12. 8 PTA及び保護者のとちぎ未来アシストネット事業に係るアンケートの実施【取組の結果】

(2) 結果の分析について

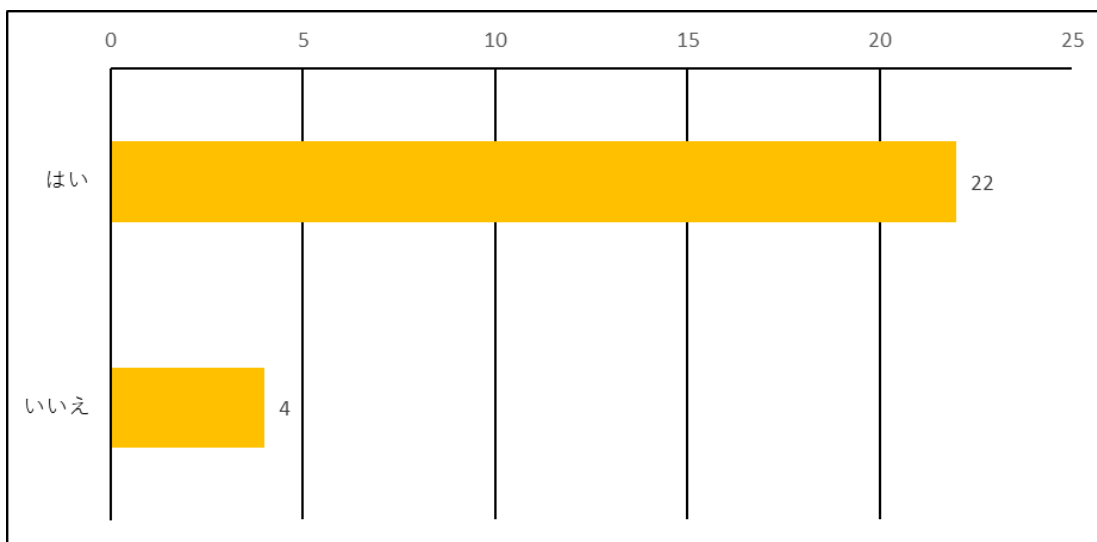
- ・推進委員会（市PTA連合会役員会）で第1回及び第2回のアンケートの分析を行う。

2 第1回アンケートの結果と考察

「PTA活動」と「とちぎ未来アシストネット事業」の連携についてのアンケート

- ・実施日：R5.9.8
- ・対象：市立小・中学校のPTA会長
- ・アンケート回答率：61.9% (26人/42人)

(問1) 貴団体は、「アシストネット」について説明や研修を受けたことがありますか？



【「はい」と回答した方へ】

①どんな機会に説明を受けましたか？（複数回答可）

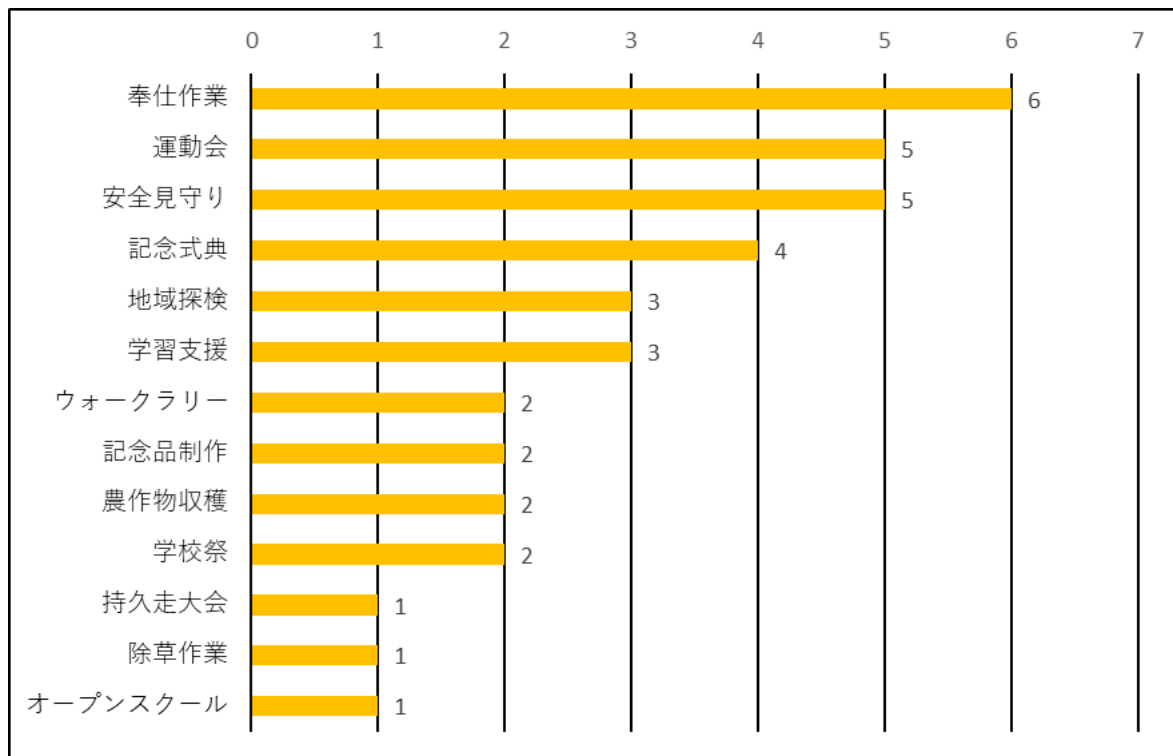
- ・学校運営協議会…………… 18人
- ・単位PTA総会…………… 11人
- ・単位PTA研修…………… 10人

②誰から説明を受けましたか？

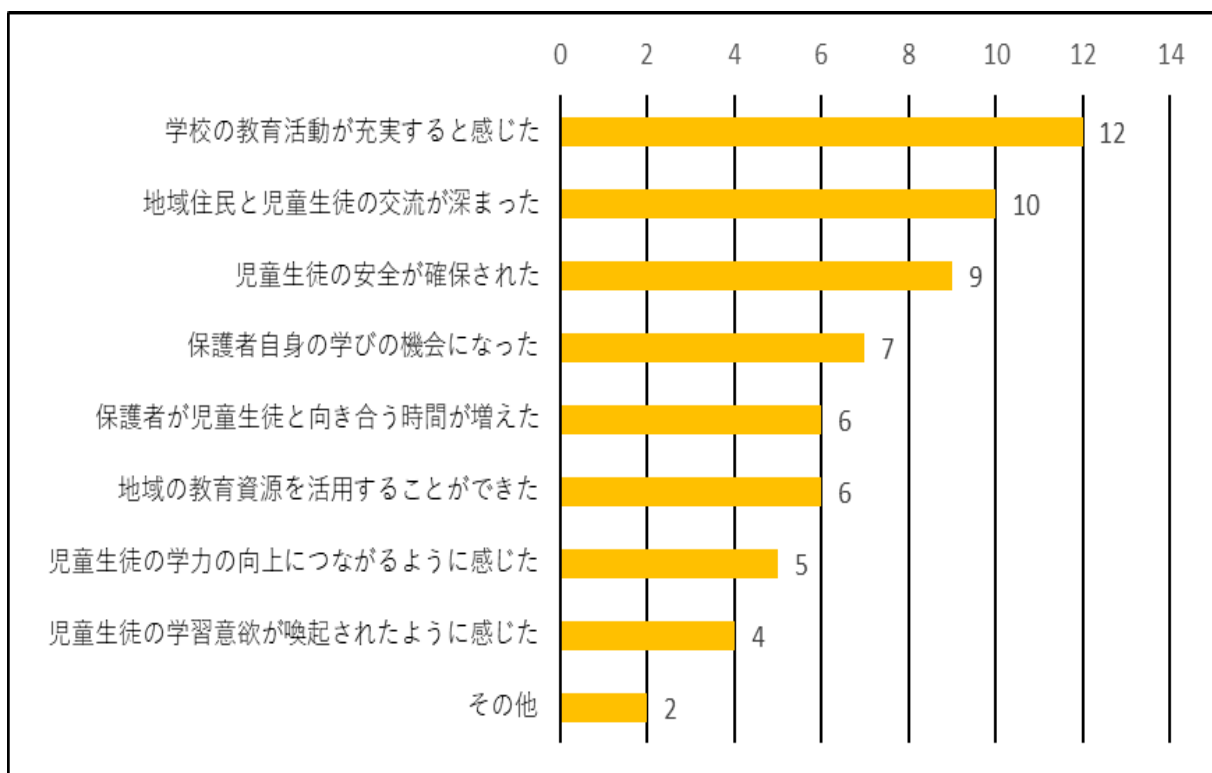
- ・地域コーディネーター… 14人
- ・学校コーディネーター… 4人
- ・教育委員会担当者…………… 2人
- ・その他…………… 2人

(本部役員から、市PTA連合会で説明をうけた、ボランティア交流会で知った、アシストネットの地域教育協議会で知った)

(問2) アシストネットと連携して実施した行事や活動があれば記入してください。(複数回答可)



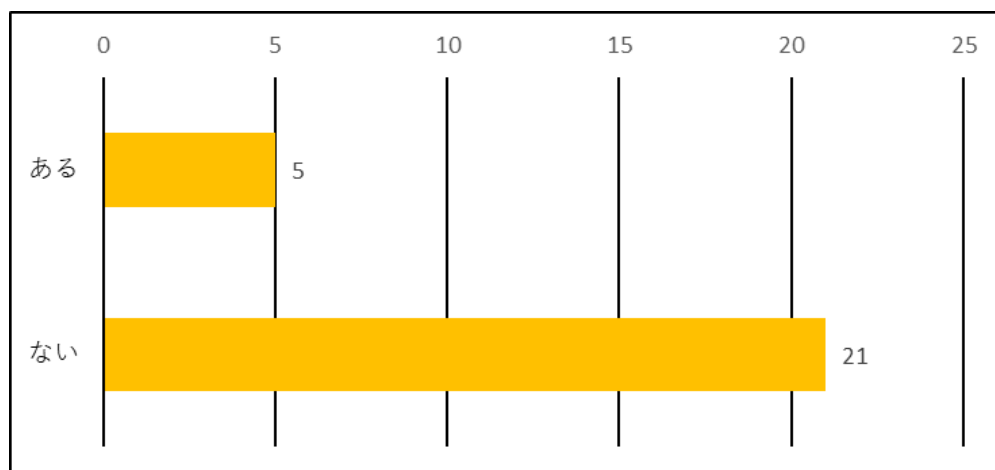
(問3) アシストネットと連携して行事や活動を行った際、感じたメリットは何ですか？
(複数回答可)



※その他の回答

- ・地域とPTAが協働することができる。
- ・スタッフとして参加してもらった方にも喜んでもらえる。

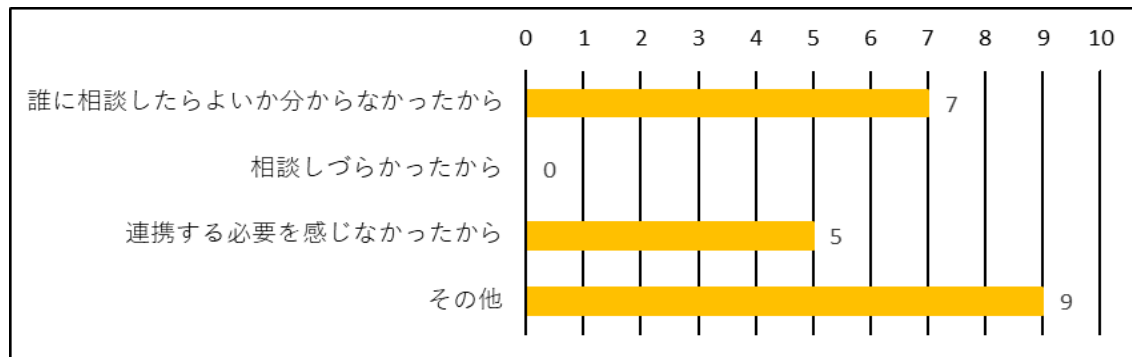
(問 4) P T Aからアシストネットを活用して、地域のボランティアの方々に呼びかけて企画やイベントを実施したことがありますか。



【「ある」と回答した方：具体的にどんな企画やイベントを実施しましたか？（複数回答可）】

- ・周年記念事業を実施した。（3人）
- ・学校祭の時、本校出身の経営者の方に協賛をいただいた。
- ・今年度から、従来型のバザーを廃止して、学校・児童・P T A・地域の方から出店や展示、歌、ダンスなどの出演の協力を募り、「あきこい」の名称でイベントを開催した。

【「ない」と回答した理由を選択してください。（複数回答可）】



【その他の回答】

- ・必要を感じなかったわけではないが、何をどう連携できるのかわからなかった。
- ・学校側で話をされると思っていたから。
- ・機会が無かった
- ・コロナで行事や活動が無かった。
- ・今後、連携していく機会が作れると思う。
- ・特に連携するような事業がないから。
- ・P T A主体で実施できた行事に関して、連携が必要となる行事活動がなかった。
- ・学校側ですでに連携が取れている。

(問5) 今後、PTA活動がより充実するために、アシストネットと連携したい行事や活動があればご記入ください。

- ・教員を補助し、負担軽減につながる様な活動（授業や学校生活のサポート等）。
- ・学校の環境整備。
- ・田植え、野菜の収穫、工場見学、職場体験（6次産業まで）。
- ・今まで実施していた他にも連携できることは是非お願いしたい。子供達の地域交流のためにも。
- ・学校祭やPTA研修。
- ・どんな特技や協力していただける事があるのか、分かり易い一覧を作成する。
- ・今後、本校では地域の方や本校を卒業された方などを、賛助会員としてPTAに参加してもらうかどうか検討する予定である。
- ・奉仕活動での除草作業。
- ・一斉下校時の立哨などお手伝い頂ければありがたい。
- ・学校行事（PTA主催）への協力が考えられるが、それが、教員の働き方改革の邪魔になる事も危惧される。PTA活動は必要だと思うが、学校も含め、各団体に受け入れられる連携の構築が必要だと思う。
- ・生徒の安全確保のために、登下校時の立哨を協力していただきたい。
- ・PTA会員の中から地域コーディネーターを輩出できるとよいと思う。そのために、どんな分野に強い人材がいるかどうかを把握しておくため、まずは地域内のコミュニケーションを深めていく必要がある。
- ・保護者が学ぶ場としてアシストネットと連携できればと思うと同時に児童生徒の健全な育成に協力し合っているような活動をしていてもらいたい。
- ・学校生活だけでは学べないことや社会に通用するための大事な事を教える場を作るなど、地域と共に教育を支える存在になってもらいたい。
- ・学園祭での協働は素晴らしい出来だったので、それは継続したい。
- ・樹木伐採や施設修理はおやじの会にお任せできるので、アシストネットは社会やその他の通常授業と特別授業で連携出来たらと考える。
- ・PTA主催の講話などで特に連携を図りたい。
- ・毎日登下校の見守りをしていただき、子どもたちも私たち保護者も本当にありがたく感じている。今後も連携しながら子供達の安全を守れたらと思う。また、PTA主催の親子学習会に講師として来ていただいたり、奉仕活動と一緒にやっていただけたらとありがたい。

(問6) PTAとアシストネットが連携する上で、課題と感じていることは何ですか？

- ・保護者の窓口になるコーディネーターの人選が必要ではなか。
- ・共にできる学校行事や校外学習が多種多様にあること。
- ・PTA会員に、アシストネットに関する情報が十分に周知されていないように感じる。
- ・アシストネットに関するフライヤーなどの配布物があっても、ただの配布物になっているのではないか。
- ・学校自体が、地域と連携した取り組みをどう考えているのか疑問である。
- ・具体的に、アシストネットのみなさんにどのような協力依頼ができるか等、もう少し情報が欲しい。
- ・少子化で子供の数が減り、時代と共にPTAに対して消極的になっています。
- ・PTA活動自体、仕事をされている方がほとんどなので、集まりなどでは不参加が多い。

- ・本来、PTA活動とは、保護者と先生方とで行う活動だと思いますが、先生方の負担や責任の部分で難しい状況になってきている。
- ・いずれPTAという言葉が薄れた活動になっていく。そうするとPTA自体に加入する事に違和感を感じる保護者も出てくるのではないかと感じる。
- ・教職員とPTAとアシストの触媒役となるグループでの定期ミーティングが必要だと感じる。
- ・保護者は土日で活動しやすく、学校側は平日昼間に活動しやすい、というギャップが問題になっている。
- ・主に実施するのは平日昼間である為、会社員の方などは勤務調整が必要。
- ・アシストネットの存在を知れば知るほど、どのようにつなげていったらよいか迷う。
- ・保護者とアシストネットが連携する際の課題としては、現段階では先生を通さないとならないため、先生方の負担を考えるとどうしても気後れしてしまうことがある。PTAとアシストネットが直接つながれると、子どもたちのためにできることが増えるのではないかと感じている。

【結果】

- ・回答率が約62%であるが、回答したPTA会長は、アシストネットについての説明を受けた方が多かった。しかし、PTA会長であってもアシストネットについて認知していない方が少なからずいる。
- ・説明を受けた機会は、学校運営協議会が一番多かった。PTA総会やPTA研修会が半数ほどであった。
- ・アシストネットと連携した取組として多かったのは「奉仕作業」「運動会」「記念式典」であった。これまで、PTA単独でやっていた活動を、地域のボランティアと協働で取り組んでいる学校が多くある。
- ・アシストネットと連携することで、多くの方が「教育活動の充実」「地域住民との交流」「児童生徒の安全の確保」といった効果を感じている。
- ・アシストネットと連携が「ない」との回答の理由から、コロナ禍によりPTA活動自体が少なくなっていたことが一つの要因である。
- ・今後、アシストネットと連携したいことの回答から、地域のボランティアと連携・協働しての学習支援や学校の環境整備、学校行事等での共催など様々な活動をしていきたいという意見が多かった。

【アンケートから見えてきた課題】

(1) アシストネットの認知度向上

- ・PTA会長であってもアシストネットを認知していない方が一定数いるため、広報活動を強化する必要がある。
- ・多くのPTA（保護者）に情報を届けるための仕組み（リーフレット等の資料配布、説明会など）を検討する。

(2) PTA総会やPTA役員会への説明会の開催及び広報紙作成

- ・PTA総会やPTA役員研修会がアシストネットの説明の場として有効であるため、多くの保護者が参加するよう働きかけて説明会を開催する。
- ・PTA向けの広報紙を作成し、アシストネットの説明や活動内容を知らせる。
- ・すでに実施している学校の成功事例を共有し、他の学校でも実践できるよう支援する。

(3) 連携活動の拡充と普及、地域のボランティアとの連携強化の取組

- ・ボランティア交流会で地域のボランティアとPTAが連携してできることの情報交換や共有、協議する必要がある。
- ・「奉仕作業」「運動会」「記念式典」以外にも、学習支援や環境整備、学校行事の共催など、多様な連携活動を学校運営協議会や地域教育協議会で検討する。

(4) PTA（保護者）と地域住民が共同でボランティア活動を行う場の設定

- ・コロナ禍によりPTA活動が縮小していたため、徐々に活動を再開し、PTAと地域とのつながりを回復させる取組が求められる。

(5) PTA組織の見直しやPTA行事の在り方についての検討

- ・PTA活動が負担にならないよう、地域ボランティアとの協働の仕組みを構築し、役割分担を明確にする。
- ・保護者や地域住民の協力を得やすくするため、具体的な活動内容を明示し、参加しやすい形を整える。

これらの課題を解決することで、アシストネット事業の活用がより広がり、PTA・地域・学校が協力しながら教育環境の向上を図ることができると考えられる。

3 課題解決に向けた取組

(1) アシストネットの認知度向上のための取組

ア チラシ及びリーフレットの作成

アンケートの分析をもとに、PTAとアシストネットの連携についての情報提供・啓発のために作成。

ア) 保護者向けボランティア募集のチラシ

とちぎ未来アシストネット

とちぎ未来アシストネットとは・・・
子どもを統とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の顔となるものです。

学校支援ボランティアに参加してみませんか！

できることをできるときに あなたの力を学校で生かしてみよう

★メールやプリントで、ボランティアの内容や日程などをお知らせします。
★希望の活動日に行きつけ、活動に参加できます。
★保護者の意向で活動内容や日程を調整し、ぜひご参加ください。

小・中学校

保護者の皆さん

学校支援ボランティア

学校コーディネーター

地域コーディネーター

とちぎ未来アシストネット推進委員会

とちぎ未来アシストネット

とちぎ未来アシストネットとは・・・
子どもを統とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の顔となるものです。

学校支援ボランティアに参加してみませんか！

できることをできるときに あなたの力を学校で生かしてみよう

★メールやプリントで、ボランティアの内容や日程などをお知らせします。
★希望の活動日に行きつけ、活動に参加できます。
★保護者の意向で活動内容や日程を調整し、ぜひご参加ください。

小・中学校

保護者の皆さん

学校支援ボランティア

学校コーディネーター

地域コーディネーター

とちぎ未来アシストネット推進委員会

イ) 地域住民向けボランティア募集のチラシ

とちぎ未来アシストネット

とちぎ未来アシストネットとは・・・
子どもを統とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の顔となるものです。

学校支援ボランティアに参加してみませんか！

自分の時間やスキルを活かしてみよう

★メールやプリントで、ボランティアの内容や日程などをお知らせします。
★希望の活動日に行きつけ、活動に参加できます。
★保護者の意向で活動内容や日程を調整し、ぜひご参加ください。

小・中学校

保護者の皆さん

学校支援ボランティア

学校コーディネーター

地域コーディネーター

とちぎ未来アシストネット推進委員会

とちぎ未来アシストネット

とちぎ未来アシストネットとは・・・
子どもを統とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の顔となるものです。

学校支援ボランティアに参加してみませんか！

自分の時間やスキルを活かしてみよう

★メールやプリントで、ボランティアの内容や日程などをお知らせします。
★希望の活動日に行きつけ、活動に参加できます。
★保護者の意向で活動内容や日程を調整し、ぜひご参加ください。

小・中学校

保護者の皆さん

学校支援ボランティア

学校コーディネーター

地域コーディネーター

とちぎ未来アシストネット推進委員会

ウ) 啓発用リーフレット

とちぎ未来アシストネット

とちぎ未来アシストネットとは・・・
子どもを統とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の顔となるものです。

学校支援ボランティアに参加してみませんか！

自分の時間やスキルを活かしてみよう

★メールやプリントで、ボランティアの内容や日程などをお知らせします。
★希望の活動日に行きつけ、活動に参加できます。
★保護者の意向で活動内容や日程を調整し、ぜひご参加ください。

小・中学校

保護者の皆さん

学校支援ボランティア

学校コーディネーター

地域コーディネーター

とちぎ未来アシストネット推進委員会

とちぎ未来アシストネット

とちぎ未来アシストネットとは・・・
子どもを統とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の顔となるものです。

学校支援ボランティアに参加してみませんか！

自分の時間やスキルを活かしてみよう

★メールやプリントで、ボランティアの内容や日程などをお知らせします。
★希望の活動日に行きつけ、活動に参加できます。
★保護者の意向で活動内容や日程を調整し、ぜひご参加ください。

小・中学校

保護者の皆さん

学校支援ボランティア

学校コーディネーター

地域コーディネーター

とちぎ未来アシストネット推進委員会

イ 説明会

学校（教職員）、家庭（保護者）、地域（地域住民）に対して、アシストネットの理解や啓発のための研修会を実施

ア) 職員研修（大平西小 R5. 7. 31）

市教委生涯学習課アシストネット担当者による研修会。（ワークショップ）



イ) PTA役員会（西方中 R6. 4. 26）

市教委生涯学習課アシストネット担当者による研修会。（講話）



ロ) 民生委員研修（赤津小 R6. 4. 30）

市教委生涯学習課アシストネット担当者が説明。



エ) PTA会長研修（R6. 11. 8）

市教委生涯学習課アシストネット担当者が市内PTA会長に説明。



(2) PTA総会やPTA役員会での説明会の開催及び広報紙の作成

ア PTA総会

PTA会員のアシストネットについての理解を進め、保護者の学校支援ボランティアの参加を促す。

ア) 南小総会

南小地域コーディネーターを紹介。



イ PTAだより・アシストネットだより

ア) 岩舟小 PTA広報紙

アシストネットを紹介するコーナーで、地域コーディネーターを写真つきで紹介。

PTA特別号

ボランティア紹介

栃木市では『とちぎ未来アシストネット』事業を実施し、学校・家庭・地域の連携・協力を組織的に発展させ、子どもの生きる力を育み「学校支援」「地域の絆づくり」にもつなげるための取組を推進しています。

アシストネットの特徴として、市内すべての小中学校及び学区に「学校コーディネーター（学校職員）」「地域コーディネーター（地域住民）」を配置し、それぞれが連携して学校や地域でのボランティアの支援を行っています。岩舟小でも保護者の皆様や地域の方々のご協力により子供たちがより良い学校生活を送ることができています。

これからも「できる人が できる時に できることを 無理のないように」学校支援ボランティアにご参加いただけますと子ども達の励みにもなりますのでご協力よろしくお願いいたします。

岩舟小の
地域コーディネーター

大島 越沼 大森

岩舟小ボランティア
活動例

- タブレット操作支援
- 読み聞かせ
- あいさつ運動
- ミシン操作支援
- 校外学習児童引率
- かけ算九九検定
- 昔の遊び体験
- 水泳指導支援
- 校内の消毒作業
- 昼休み見守り
- 戦争体験の話
- タグラグビー講習会
- チューリップ球根植え
- コスモス種まき
- など...

イ) 寺尾小のアシストネットだより

アシストネットに特化した記事を掲載し、学校が発行している。

寺尾小アシストネットだより No.1 令和6年6月

今年度も「読み聞かせ」が始まり、掲示も季節に合わせて作成してくださいました。

読み聞かせボランティアの皆様、ありがとうございます。子どもたちは「読み聞かせ」が大好きで、のびのびと楽しんでいます。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

5月の掲示

6月の掲示

いつも季節を感じさせるすてきな掲示をありがとうございます。

寺尾小アシストネットだより No.6 令和6年10月2

ミシンボランティアの皆様、ありがとうございました！
 ☆10/8(火)の1・2校時に、5名のミシンボランティアさんにお世話になり、5年生がミシンを使って、ランチョンマットを仕上げました。

壁面は10月の飾りに替えてくださいました！いつも季節を感じさせてくれる、素敵な掲示をありがとうございます！

ロ) 生涯学習課のアシストネットだより、広報とちぎのコラム

市内各学校で実査されている取組を共有し、他の学校でも実践できるよう情報の提供をしている。

アシストネットだより No.55 令和5年10月

学校・家庭・地域が連携・協力し、地域ぐるみで育む子どもたちの「生きる力」

☆生涯学習課 アシストネット担当者 を学校に！
 ～ 社会教育主事による校内研修 ～

生涯学習課では、アシストネットについての理解を深め一層の推進を図ることを目的に、校内研修に社会教育主事を派遣しています。大平西小学校では、7月31日に校内研修を行いました。研修では、ボランティアに、どの程度までサポートをお願いするかを一人一人が考え、グループで発表しました。水泳の時間や校外学習の留守などの安全面での配慮や花壇の整備など様々な具体的な話し合いが行われました。また、この日の研修には、大平西小の地域コーディネーターが参加し、先生方へ「ニーズを教えてください」「困窮をしないで声をかけてほしい」と伝え、「全ての先生方と知り合えて良かった」とのお話がありました。

このような校内研修によって、初任者や地味市から異動してきて初めてアシストネットに出会った教職員はもとより、校内の全教職員のアシストネットへの理解が深まり、ボランティアとのより効果的な連携が期待できます。社会教育主事による校内研修の実施を検討してみたいかでしょうか。

様々な アシストネットの取組

地域住民による「地域から学校へ」の取組である学校支援ボランティア活動や、児童生徒による「学校から地域へ」の社会貢献としての地域活動への参加など様々な場面でアシストネットの取組が行われました。活動の実践を紹介します。

大平西小 (地域から学校へ)
米作りのお手伝い
 7月12日、地域の米作り農家の力を借りて、「大平西の米作り」の授業が行われました。実物や写真を使っての説明により、興味深く効果的な学習ができました。

大平西小 (学校から地域へ)
書写の支援
 6月1日、地域ボランティアを講師として、2年生の毛筆書写の授業が行われました。書く姿勢や筆の持ち方の説明の後、大型画面を使って、丁寧に手本が示されました。生徒たちは、集中して課題に取り組んでいました。

寺尾小 (地域から学校へ)
サマーランチの実践
 8月2、3、4日の3日間にかけて「寺尾小サマーランチ」が行われました。からくり人形に驚き、パリンピックの種目である「ボッチャ」を学び、折り紙を楽しんで、この夏の「サマーランチ」を満喫しました。

図書室大好き

生涯学習課 ☎ (21) 2490

合戦場小学校では、図書ボランティアの方々が月に1度来校し、本の修理やラベル貼り、本棚の掃除、掲示物の作成などを行っています。また、読書週間前には、先生方と一緒にイベントの準備やお知らせをつくるなどして、色々な本に触れたり、本から広がる世界を楽しんだりする環境を整えています。子ども達は、きれいに並べられた本や素敵なディスプレイに囲まれ、自ら進んで読書に取り組み、読書量も増えています。

図書ボランティア以外にも、読み聞かせボランティアの方々が毎月2回、朝の読み聞かせを行い、子どもが本に親しみ、読書習慣を身に付けていけるような活動をしています。

2024年 広報とちぎ 10月号掲載

保護者による学校支援ボランティア

生涯学習課 ☎ (21) 2490

とちぎ未来アシストネットでは、地域や ASSINET 保護者の方々が学校支援ボランティアとして活躍しています。今年度は、授業支援や校外学習の付き添い、奉仕作業での短時間活動をする保護者のボランティアが増えています。

藤岡小学校では、今年度 PTA 組織に「学校サポート部」を新設し、「子どもたちの笑顔のために、保護者ができる範囲で気軽に参加できる活動（「スポンサーサポート」）」として、保護者に学校支援ボランティアの参加を促しています。

また、三輪小学校では、「可能なときに、可能な方が、可能な範囲で学校のお手伝い（「ちょこっとボランティア」）」としての保護者のボランティアを募集しています。いずれの学校も保護者に無理のない範囲での支援をお願いする取組です。

参加した保護者からは「親同士や他の子どもたちとのつながりもでき、やりがいがあります」「本来のクラスの雰囲気や間近で感じることができ、授業参観よりも子どもたちののびのびとしている姿を見ることができました」「子どもたちと一緒に活動できて楽しかったです」などの感想がありました。

2025年 広報とちぎ 2月号掲載

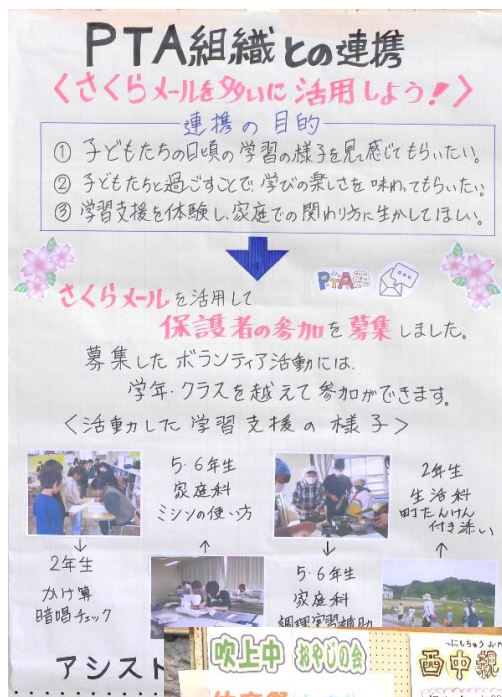
(3) 連携活動の拡充と普及、地域のボランティアとの連携強化の取組

ア ボランティア交流会（兼PTA会長研修会）

栃木市PTA連合会、アシストネットの実行委員、栃木市教育委員会が共催し、市内で先進的に活躍しているコーディネーターやボランティアの実践、各地域で行われている様々な取組の紹介や参加者の情報交換を行い、本事業の理解を深めることを目的として実施している。

イ) 令和5年度 ブース発表：アシストネット活動とPTA組織との連携

10ブース《校内ディスプレイ、福祉教育、ボランティア募集、親父（おやじ）の会、中学生支援、PTA組織との連携、外国籍の子ども支援、国際理解教育、イベント・学校と公民館の連携・家庭教育支援（オピニオンリーダー）・実践事例発表補足》を設定し、屋台村形式で発表した。



4) 令和6年度 協議：子どもたちのために「アシストネット」と「学校・PTA」が連携してできること

協議の前半は、学校コーディネーター・教職員、地域コーディネーター・学校支援ボランティア、単位PTA役員・保護者のグループ別で行い、他校との交流とともに連携のための様々なアイデアを出し合った。後半は、そのアイデアをもとに、各学校や中学校区で、具体的な取組について協議した。

○主なアイデア

- ・PTAへ周知は、PTA総会を活用し、アシストネットを紹介していけばよいのではないか。
- ・新入生説明会時や初めての子が入学する時に、アシストネットの説明ができればよいのではないかな。
- ・アシストネットを理解してもらうためにPTA本部役員経験者に協力してもらう。
- ・保護者の周知は広報ではなく実際のボランティアの様子を見学してもらう機会をもつと良いのではないかな。
- ・地域のイベントを誰でも参加しやすく楽しめるものとし、祖父母を巻き込んで行いたい。
- ・様々な地域と連携していければ良い。
- ・保護者のボランティアは、子どもの卒業で終わりにしない仕組みができると良い。
- ・子どもが卒業した後も地域の人としてボランティアに協力するシステムをつくっていく。
- ・地域の行事等では、小学生や中学生などの子ども達もボランティアとして巻き込んだ活動をしていくとよいのではないかな。



イ 学校運営協議会

子どもの成長をサポートするため、学校とPTA、アシストネットが協働してできることも協議している。

ア) みまもりプロジェクト（栃木第五小）

見守り活動にあいさつ運動を加えた活動を、学校運営協議会の会長がPTA役員会にて提案して始まった。学校独自の腕章を作成し保護者に配付した。



イ) 県立高校入試面接ボランティア（栃木南中）

学校運営協議会に校長が提案して協議し、学校運営協議会委員（PTA会長・副会長を含む）が面接官となり、県立高校入試の模擬面接を行った。



ウ 地域教育協議会

小中学校長、地域コーディネーター、公民館長、地域住民の代表（学校運営協議会長を含む）を構成員とし、アシストネットにおける成果や課題、問題点の抽出、その解決に向けた方策についての協議や各学校、各団体、公民館の取組状況についての情報交換をしている。

ア) 西方地域

地域住民代表の他、西方地域全小中学校の校長・PTA会長、地域コーディネーターが委員となり、毎年テーマを決めて研修をしている。



イ) 吹上地域

様々な協議の中で、特に、吹上地区まちづくり協議会が作成した「こどもの交通安全・防犯マップ」について、児童生徒のタブレットでの活用方法の協議や車の往来が激しく危険な通学路についての安全確保についての意見交換がされていた。

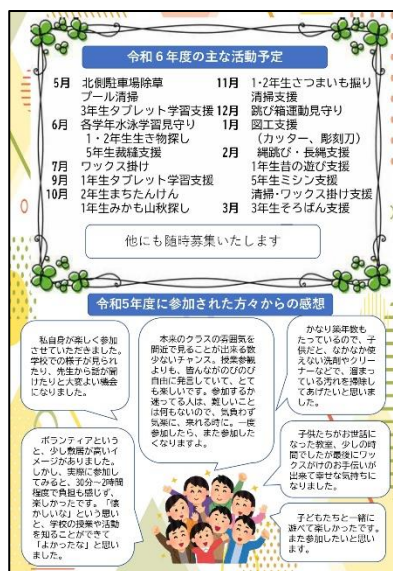


(4) PTA（保護者）と地域住民が共同でボランティア活動を行う場の設定

ア 保護者のボランティア募集

ア) ちょこっとボランティア（ちょこボラ）（三鴨小）

「可能なときに、可能な方が、可能な範囲で学校のお手伝い」としての保護者のボランティアを募集しています。



イ) スポットサポーター(Sサポ)（藤岡小）

「子どもたちの笑顔のために、保護者ができる範囲で気軽に参加できる活動」として、保護者に学校支援ボランティアの参加を促している。

お知らせ2

スポットサポーター(Sサポ)について

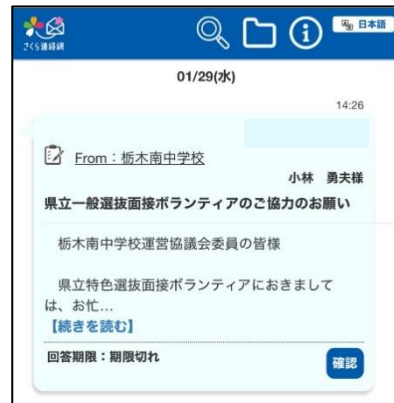
皆さんは、PTA 総会資料で、昨年度まで1人1回以上の協力をお願いしていた「奉仕作業」がなくなったことに気づきましたか？ これから藤小 PTA は、「できる範囲で気軽に参加できる活動」にしていきたいと考えています。そこで今年度から、参加できる人をその都度募り、活動するスポットサポーター制を導入します。新しい取り組みですので、手探りの部分もありますが、次のようにやっていきたいと考えています。

- 先生方から「大人の目や手があると助かる活動」を聞き取り調査します。
【実施済み 下表参照】
- 対象となる学年の保護者に、「さくら連絡網」等を通して募集をします。
(例えば、2年生の九九チェックは、2年生の保護者に募集をかけます。)
保護者だけでなく、祖父母・兄姉の参加も大歓迎です。
- 学校で人数の取りまとめ、参加者への連絡は、「さくら連絡網」で行います。

授業参観より、普段の

ウ) 学校メールの利用

学校メール(さくら連絡網)を使用させていただき、保護者のボランティアの募集をしている。



イ 学習支援ボランティア活動の実践

ア) ミシンボランティア (吹上小・藤岡中)



イ) 算数まる付け (皆川城東小)



ウ) かけ算九九の暗唱支援 (千塚小・寺尾小)



エ) 田んぼアート（西方小）

創立 150 周年事業の一環として、PTA会長が中心となり、地域の農家の方々や保護者の協力を得て実施した。



ウ 学校行事での取組

ア) 三小祭（栃木第三小）

学校長の提案で、PTA、地域住民の代表が学校運営協議会にて協議し、従来のPTA主催のPTA祭を学校とPTAの共催として企画した。地域団体のイベントブース等もあり、PTAと学校、地域が子どもたちのために協働して実施することができた。



イ) 静和っ子デー（静和小）

学校とPTAが共催し、全児童対象の「静和っ子デー」を実施した。イベントブースの内容は、PTAが中心となり企画し、当日は、教職員、PTA、地域のボランティアが協力してブースの運営を行った。また、子どもたちからイラストを募集し、ペットボトルアートをPTAの役員が中心となって作り上げた。



リ) あきこい（大平西小）

PTA役員、おやじの会、学校運営協議会委員が協働し、「あきこい」を開催。子どもたちの作品の展示、体験活動、出店の出店、ステージ発表など人と人のつながりや温かさを感じられるイベントとなった。



エ 各種社会教育団体等主催のイベント

ア) わっしょいまつり（皆川中・皆川城東小）

皆川中生の発案により、学校、生徒、PTA、地域コーディネーター、ボランティア、公民館が協働し、小学生を対象としたお祭りを皆川城東小学校で実施した。



イ) ふじおかたんけんフェスタ（藤岡中）

ふじおか子どもネットワークが主催し、PTA、地域コーディネーター、地域のボランティア、藤岡中生のボランティアが協力し、小学生を対象としたフェスタを藤岡公民館で実施した。



カ) スリラーナイト (岩舟地域小中学校4校PTA)

岩舟地域の小中学校4校のPTA、地域コーディネーター、地域のボランティアが合同で企画。小中学生を対象にお化け屋敷イベントを岩舟公民館で実施。



主催 岩舟PTA連合会岩舟ブロック

スリラーナイト 2024

公民館がお化け屋敷になっちゃった!?

10月13日(日) 岩舟公民館 17:00開会 17:30~順次スタート

応募対象: 岩舟市岩舟地区の小中学生・中学生・保護者
5人までのグループでお申し込みください。
申込者多数の場合は抽選とさせていただきます。
当選者には9月上旬にご案内と同意書をお送りします。
※小学生のいるグループは一括に回る保護者が必要です。
参加者の方は当日保護者の同意書が必要となります。
7月17日(水) 締め切り 参加費1人100円
必要事項を記入の上、担任の先生に提出してください。

お問い合わせ 代表兼司 〓 kumagoto30@gmail.com

スリラーナイト 参加申込書

※ 保護者記入のため保護者が参加の場合は年齢を記入のこと

年 組 氏名 ()

年 組 氏名 ()

年 組 氏名 ()

年 組 氏名 ()

年 組 氏名 ()

スリラーナイトスタッフ 参加申込書

※ ボランティアスタッフは大人のみ
応募者多数の場合抽選とさせていただきます。

氏名 _____

在学生氏名 年 組 _____

エ) あかまっこ体験フェスタ (赤麻小)

「あかまる隊(赤麻小の保護者等の地域のボランティア)」が主催し、PTAとの共催で、ヨシ灯り作り、消防団による放水などの体験やネイルのワークショップ、フリーマーケット、キッチンカー、ステージ発表など、地域住民が得意なものを持ち寄り、大人も子どもも笑顔になれるイベントを赤麻小で実施した。



わ) 家中KIDS マルシェ (家中小)

PTAが主催し、実行委員会を組織して企画運営をした。熱気球体験、じゃんけん大会、モルックなどのイベントや出店が出店するなど、保護者や地域のボランティア、団体が協力し、誰もが楽しく触れ合えるマルシェを家中小で実施した。



(5) PTA組織の見直しやPTA行事の在り方の検討

ア 単位PTAの組織改編

ア) 組織改編 (藤岡小)

既存の5つのPTA専門部の必要性を検討し、令和6年度に「学校サポート部」「広報部」の2部体制とした。また、専門部については、子どもや学校のために、何が必要かを毎年検討し、設置していくことにした。

 藤岡小学校 PTA だより 第1号		令和6年4月26日 栃木市立藤岡小学校 PTA 広報部
令和6年度 藤小PTAは進化します！		
保護者のみなさん、お子様のご入学やご進学まことに改めてとうございます。藤岡小学校 PTA 広報部です。令和5年度は、創立150周年記念事業をはじめ、たくさんの方のご協力をいただきながら、無事に完走することができました。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。 さて、4月になり令和6年度になりました。本年度は本部役員が中心となり、より有意義なPTA活動を模索していきたいと考えています。今回は、大きな変更点を紹介させていただきます。		
専門部は、その年ごとに必要な部を設置		
これまで藤岡小学校 PTA には、5つの部が常設されていました。しかし、設置されているために、事業をやらなければいけない部も存在していました。そこで、その年ごとに、子どもや学校、保護者に何が必要かを考え、専門部を設置することになりました。今年度は、2つの専門部を設置します。		
専門部名	ねらい	活動内容(予定)
学校サポート部	・Sサボを活用することで先生方の負担を減らす。 ・普段見られない子どもの姿が見られる。	・Sサボ事業の確立
広報部	・前年度から大きく変わる PTA 活動を、広報だよりを通して、会員に知らせる。 ・活動を通して、PTA 活動をより身近に感じてもらう。	・PTA だよりの発行 (デジタルで学期に1～2回程度) ・PTA 広報誌は発行しない

イ 親父（おやじ）の会

ア) P T A組織内 おやじの会（吹上中）

学校行事への支援は勿論、駐輪場の塗装や屋根の一部張替などの大掛かりな作業や生徒会主催によるリサイクル品回収でのトラックへの積み込み作業を行った。



イ) P T A組織外 親父の会（栃木西中）

コロナ禍前に行われていた学校でキャンプをする活動を、親父の会と地域コーディネーターが主体となって「学校に泊まろう」という形で復活させた。当日は保護者も参加し、カレー作り・肝試し・花火・バルーンリリースなどを行った。



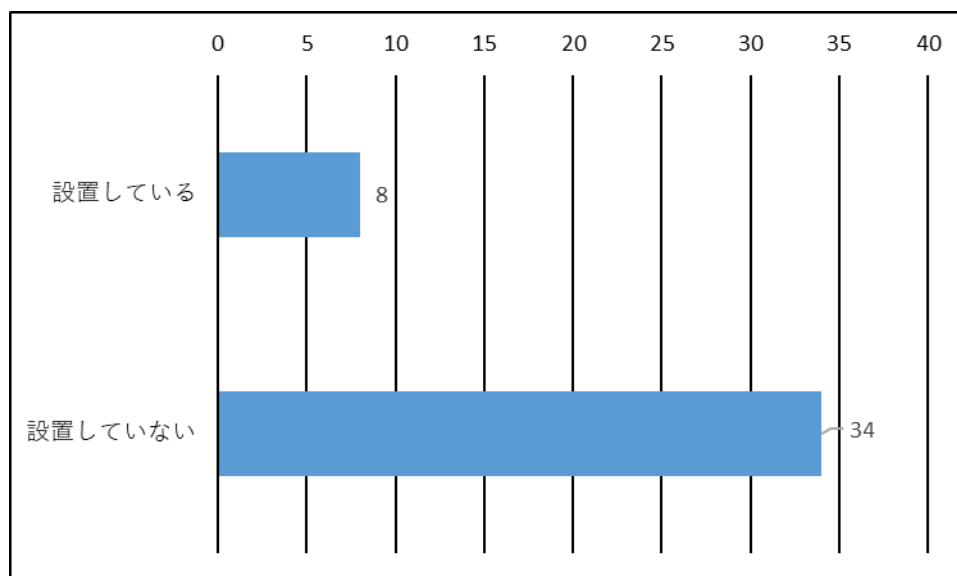
4 取組の結果について

(1) 第2回アンケートの結果

P T A及び保護者のとちぎ未来アシストネットに係るアンケート

- ・実施日：R6.12.8
- ・対 象：市立小・中学校の学校の校長及びP T A会長
- ・アンケート回答率：100% (42校/42校)

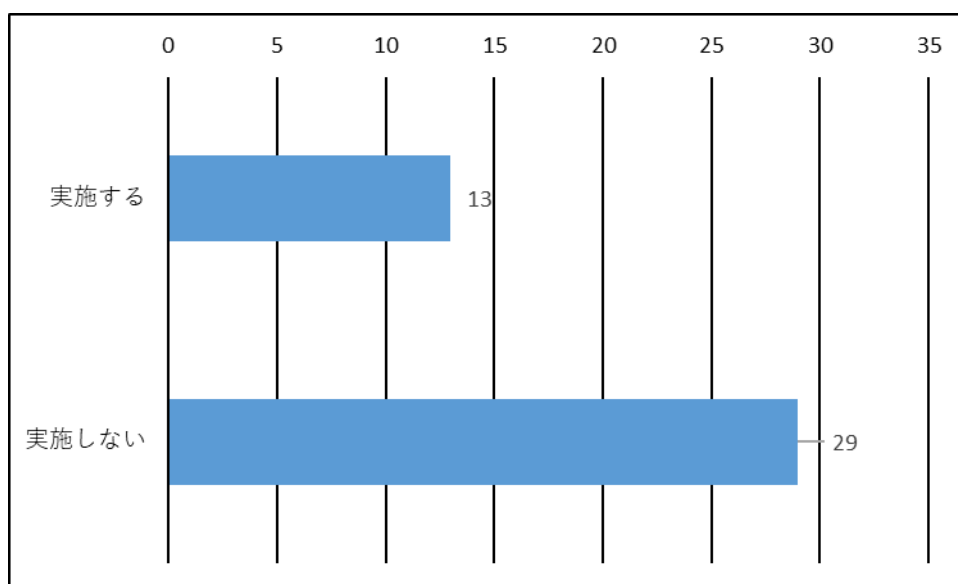
(問1) 貴校P T Aでは「アシストネット」に関わる部門・係・担当の設置していますか。



【「設置していない」と回答の学校】

- a. 次年度に設置を予定している …… 0校
- b. 設置を検討している …… 7校
- c. 設置の予定はない …… 27校

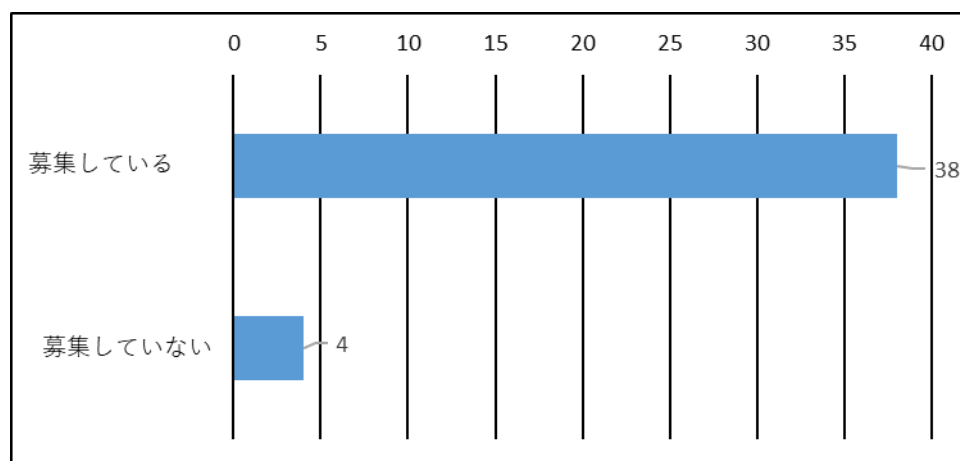
(問2) 貴校P T Aでは、今年度「アシストネット」についての研修会を実施しますか。



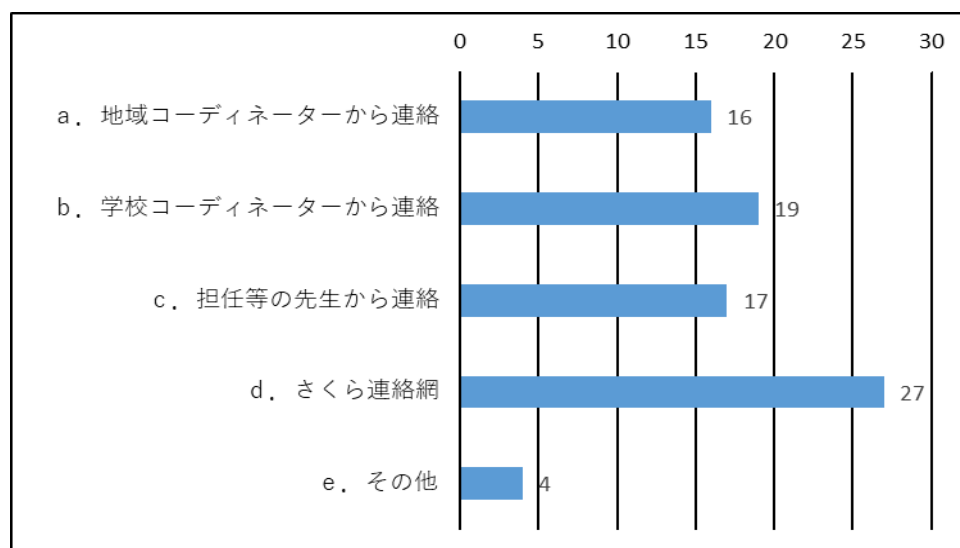
【具体的な場面】

- ・PTA主催のバザーを実施するにあたり、学校から地域と学校（PTA）との交流を進めるきっかけとしたいとの説明を受けた。
- ・例年、4月のPTA本部役員会でアシストネット説明会を実施している。
- ・4月のPTA全体会議にて、アシストネットの活動を地域コーディネーターが紹介した。また、2月の学年懇談会時には、アシストネットの活動の振り返りとボランティア募集等について説明を行った。
- ・PTA総会で、地域コーディネーターから説明を行った。
- ・PTA本部役員会で、地域コーディネーターとの話し合いを実施した。
- ・学校支援ボランティア研修会を生涯学習課担当を迎えて実施した。
- ・年度はじめのPTA役員会の時に生涯学習課担当に来てもらい説明会を実施した。

（問3）保護者に対してボランティアの募集をしていますか。また、どのように募集していますか。



【どのように募集しているか】（複数回答可）



※その他の回答

- ・ボランティア募集の通知をプリントで全家庭に配布する。
- ・学校と地域コーディネーターが、保護者のボランティアと地域のボランティアを分担している。
- ・PTA活動の一環として全保護者を対象として募集する。
- ・授業参観時に通知する。

(問3－1) 保護者は、どのようなボランティア活動をしていますか。(PTA活動以外)

※(問3)で「募集している」と回答した方のみお答えください。

★小学校 ボランティア活動

【学習支援・授業補助】

- ・読み聞かせ(図書室・教室での活動)
- ・授業支援(以下の教科・活動に関する補助)
 - 国語(習字用具の準備支援や練習補助)
 - 算数(かけ算九九、足し算カード検定、そろばん学習)
 - 社会(地域学習プレゼン資料作成補助)
 - 図工(カッターナイフ補助、のこぎり補助、など)
 - 生活科(まちたんけん引率、まとめ方支援)
 - 体育(水泳指導・プール活動見守り)
 - 家庭(手縫い・ミシン操作支援、エプロン製作)
 - 総合的な学習の時間(田植え・稲刈り、サツマイモ栽培・収穫)
- ・ICT活用支援(タブレット学習補助)

【環境整備・施設管理】

- ・校内ディスプレイの整備
- ・校内清掃見守り・ワックスがけ
- ・図書室蔵書整理・図書修繕
- ・座布団・白衣の修繕
- ・プール清掃・コースロープ張り
- ・緑化活動補助(花壇整備、除草など)
- ・流し台清掃

【行事支援】

- ・登下校の見守り・安全パトロール
- ・昼休みの校庭見守り
- ・持久走大会・記録会補助(立哨・走路見守り)
- ・運動会関連支援(準備、テント設営、後片付け、係活動)
- ・PTA祭・学校祭の手伝い
- ・宿泊学習の荷物運び補助・支援

【その他の支援活動】

- ・クラブ活動支援
- ・太鼓運搬
- ・資源物回収補助
- ・あいさつ運動
- ・学校行事等での写真撮影(記録用)

★中学校支援ボランティア活動

【学習支援・授業補助】

- ・読み聞かせ
- ・授業支援
家庭科（ミシン操作支援）
- ・面接ボランティア（模擬面接など）

【環境整備・施設管理】

- ・図書修繕・整理
- ・敷地内の清掃・環境整備（卒業記念奉仕作業など）
- ・プール清掃

【校外・行事支援】

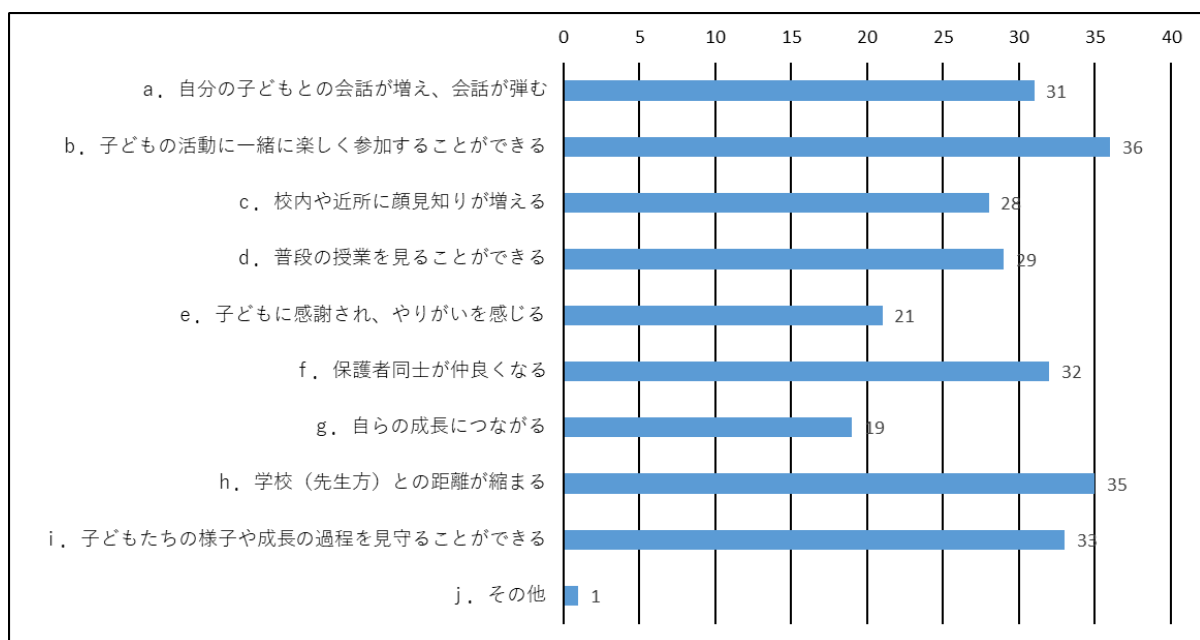
- ・登下校の見守り
- ・持久走大会・練習時の立哨・走路・見守り
- ・運動会関連の支援（テント片付けなど）
- ・学校行事の運営補助
- ・職場体験学習の事業所への連絡

【その他の支援活動】

- ・部活動巡回のボランティア
- ・リサイクル品回収活動

（問４）保護者がボランティア活動を行ったときのメリットは何だと思いますか。（複数回答可）

【保護者のボランティア活動の実施・未実施にかかわらず回答してください。】

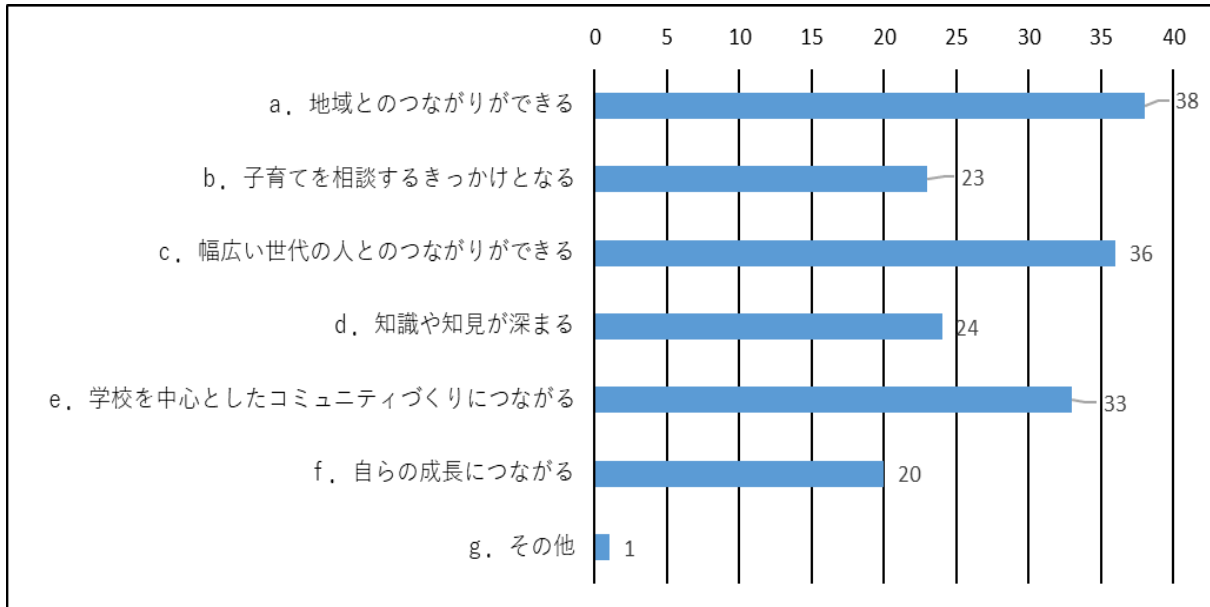


※その他の回答

- ・地域と一体となって子どもたちの見守り等

(問5) 保護者が地域住民と一緒にボランティア活動することによって期待される効果は何だと思いますか。

【保護者のボランティア活動の実施・未実施にかかわらず回答してください】



※その他の回答

- ・学校のことをよく知ることができる。

(問6) PTAと「アシストネット」と連携・協働をしてできることや、やりたいことは何ですか。

1 体験型学習・地域文化の学びの提供

- ・地元企業や団体と連携し、職業体験・地域文化や伝統を学ぶ機会を提供
- ・学校祭の活動に伝統工芸や杖術などの指導者を招き、地域の方々と交流
- ・地域の歴史・文化を学ぶイベントの開催

2 PTA活動と地域イベントの充実・協力

- ・PTA主催の「四小バザー」をさらに地域に開かれた活動へ発展させる
- ・PTA祭（えのき祭）を継続し、より積極的にアシストネットと連携
- ・PTA主催の「TERAO わくわくスクール」に地域の人々を巻き込んで実施
- ・岩舟ブロックのPTAと地域ボランティアが協力した「スリラーナイト 2024」（お化け屋敷）のような地域交流イベントの実施

3 地域防災・安全活動の強化

- ・地域イベントや防災訓練を協働で実施し、地域との絆を深める
- ・登下校の見守り活動を継続・強化
- ・昼休みの見守りや、学校外での児童の安全管理支援

4 学校教育の支援・授業サポート

- ・体験型学習の支援（田植え・稲刈り、まちたんけん など）
- ・家庭科（手縫い・ミシン操作支援）、
- ・図工・技術・音楽などの授業支援
- ・算数や国語（特に5・6年生）の授業支援

- ・図書室の環境整備、読み聞かせ、
- ・学校祭の講座に講師を招き、多様な学びの機会を提供

5 地域との交流促進・ボランティア活動の推進

- ・PTAと地域のボランティア、学校の先生方との対話の場を設け、新たな学校支援ボランティア事業を検討
- ・「おやじの会」として、プール清掃・樹木剪定などの学校支援活動を実施
- ・地域と連携した子育て事業の推進

6 スポーツ・健康促進活動

- ・スポーツ教室の開催（野球・フットベース・テニス・サッカーなど）
- ・家庭教育学級と連携し、地域のボランティア講師によるヨガ教室を実施
- ・水泳授業の際の児童の安全見守り

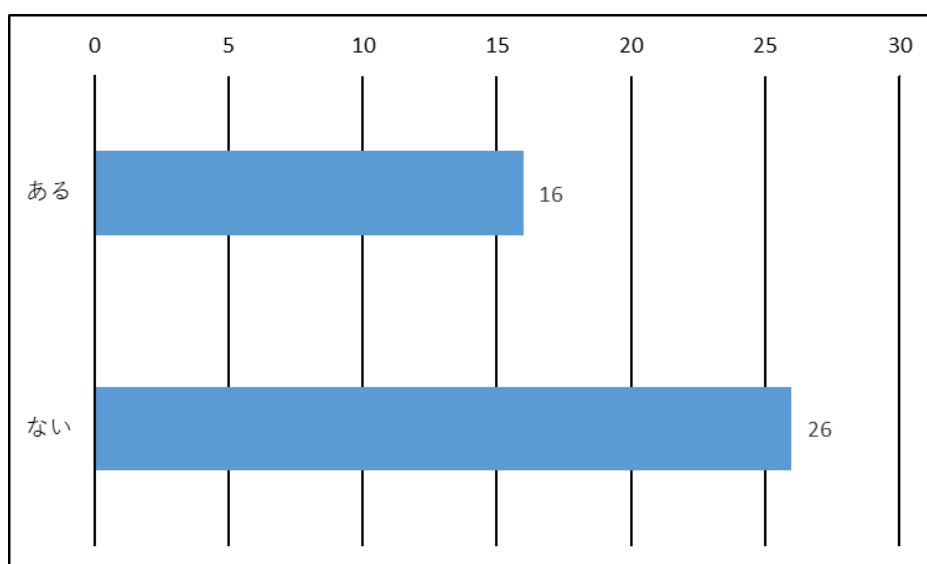
7 環境整備・学校活動支援

- ・学校農園の活用（野菜づくり）
- ・学校の環境整備（落ち葉拾い、樹木の剪定、花壇の整備、校庭の除草）

8 アシストネットの認知度向上

- ・説明会などを通じて、アシストネットの活動を紹介する
- ・PTAとアシストネットのパイプ役となり、継続的な連携を強化

（問7）貴校には、「親父（おやじ）の会」など、保護者の有志が集まってボランティア活動する組織がありますか。



【「ある」と回答した場合のPTAとの関係】

- PTA組織の一部として位置づいている…………… 1校
- PTAと連携（一部の連携も含む）している…………… 10校
- PTAとは別に活動している…………… 5校

【結果】

- ・ P T A内の組織設置状況では、アシストネットに関わる部門を「設置している」8校（19%）、「設置していない」34校（81%）であった。設置を検討している学校は7校あった。
- ・ アシストネットの研修会の実施状況は、「実施」13校（31%）、「未実施」29校（69%）であった。具体的な場面では、4月に実施される、「P T A総会」や「P T A役員会」が多く、地域コーディネーターや生涯学習課の担当者がアシストネットについての説明を行った。
- ・ 保護者ボランティアの募集では38校（90%）が保護者のボランティアを募集していることが分かった。連絡手段は「学校コーディネーター」「担任の先生」「さくら連絡網」などであった。
- ・ ボランティア活動の内容では、主に「読み聞かせ、授業支援、登下校見守り、環境整備、運動会・持久走大会補助、プール清掃 など」であった。
- ・ ボランティアのメリットでは、市内全小・中学校42校（100%）の学校や保護者がメリットを感じていることが分かった。具体的には「子どもとの会話増加」「学校・地域とのつながり」「教育活動の理解」などが多かった。
- ・ 地域住民との協働の効果では、「地域とのつながりができる」「幅広い世代とのつながりができる」「学校を中心としたコミュニティづくりにつながる」という意見が多かった。
- ・ P T Aとアシストネットが連携・協働してできることややりたいことでは、「体験学習・地域文化の学びの提供」「P T A活動と地域イベントの充実・協力」「地域防災・安全活動の強化」「学校教育の支援・授業のサポート」などの多様であった。
- ・ 保護者ボランティア組織については、16校（38%）で「おやじの会」などのボランティア組織があることが分かった。そのボランティア組織とP T A組織との連携では、11校が連携（一部の連携も含む）した取組をしていることが分かった。

IV 成果と今後の課題

1 成果

(1) PTAにとって

- ・PTA行事を地域のボランティアと協働することで、PTA役員の負担の軽減を図りながら、活性化することができた。また、組織の見直しが進み、専門部の縮小やアシストネット係の設置など、機能的な組織になった学校もある。
- ・単位PTAの総会・役員会でのアシストネットの説明やボランティア活動を紹介する保護者向けリーフレットを発行することで、保護者のアシストネットへの理解が進み、スムーズな活動が展開できるようになった。
- ・各学校での実践事例を市全体で共有することで、各単位PTAの活動に生かせることができた。そして、PTAと地域のボランティアが共催する新たなイベントを開催した学校もできた。

(2) 保護者にとって

- ・保護者が学校に関わることで保護者同士や地域の人々とのつながりができ、多世代間の交流が促され、地域全体で子どもを育てることの大切さを理解するとともに、子育ての悩み等を相談できる場が広がった。
- ・学校でのボランティア活動を通じて、授業内容や学校の運営方針についての理解が深まった。また、なかなか見ることができない通常の授業での子どもの様子を見ることができ、学校での子どもの成長を肌で感じることもできた。
- ・PTA行事を地域の人々と協働で行うことやPTA活動が効率化することで、保護者の物理的・心理的負担が軽減した。

(3) 学校にとって

- ・PTA活動とアシストネットの連携により学校支援活動が活発に行われるようになり、先生方は地域の人々が学校の応援団となっていると強く感じている。
- ・学校運営協議会での活発な意見交換をもとに、地域の人々や保護者の理解・協力を得た風通しのよい学校運営ができ、地域とともにある学校づくりが進んだ。
- ・先生方は、地域の人々との授業支援や交流によって得られる知識や技術を学ぶことで、教師としての技能の高まりや指導力の向上につながっている。また、学校行事の準備・運営におけるPTAや地域の人々の協力体制が充実することにより、先生方の負担が軽減された。

(4) 児童生徒にとって

- ・保護者や地域の人々が、ボランティアとして学校支援をすることで、子どもたちの体験活動や交流活動、学習活動における学びが豊かに広がりあるものとなった。
- ・子どもたちは、信頼できる多くの大人との関わりの中で、褒められたり、励まされたりすることにより、自己肯定感や他人を思いやる心などが育まれている。
- ・地域の人々に支えられて学ぶことや地域の良さを知ること、地域への愛着や地域の担い手としての自覚が芽生えてきている。

2 今後の課題

- ・アシストネットとの連携を含めたPTA行事をよりよい活動にするために、PDCAマネジメントサイクルを機能させる。また、年度毎に役員の半数ほどが入れ替わる学校が多いため、PTA行事の運営についての引き継ぎ方法を明確にする。
- ・保護者のアシストネットについての理解を進めるための啓発や情報発信を強化していく。そして、学校支援ボランティア活動に参加することに消極的な保護者への働きかけとともに、平日の昼間の活動に参加しにくい共働きやひとり親家庭への対応とケアを十分に行う。
- ・学校・地域・PTAの連携・協働は、学校が主導するのではなく、それぞれが対等な立場で協議され展開していくものである。そこで、各学校の学校運営協議会やPTA役員会等において、地域コーディネーターとともに、子どもたちの学びに効果的な活動や行事等を提案していく。
- ・ボランティアの高齢化という課題に対して、子どもが学校を卒業してからも、元PTA（地域住民）として学校支援ボランティアに参加できるようなシステムづくりを目指す。
- ・保護者や地域住民と一緒に学校支援ボランティア活動を行うことで、保護者とシニア世代がつながり子育ての悩み等を相談できる場が広がったが、子どもを地域で育てるという観点から、PTAとしてできる家庭教育支援を検討していく。

○ あとがき

本研究を進めるにあたり、多くの方々のご支援とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

まず、本研究の実施に際し、貴重なご意見やご助言をいただきました栃木市教育委員会の皆様、市内各小・中学校の校長先生をはじめ、とちぎ未来アシストネット関係者の皆様に深く御礼申し上げます。皆様のご協力により、PTA活動と地域の連携について多くの示唆を得ることができました。

また、調査・研究にご協力いただいた各単位PTA会長ならびに役員の皆様、学校関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。アンケート調査やヒアリングを通じて、貴重なご意見をお寄せいただき、本研究の充実につながりました。さらに、日頃より子どもたちの成長を支えてくださっているPTA会員の皆様、学校支援ボランティアの皆様、地域住民の皆様にも厚く御礼申し上げます。皆様のご理解とご協力がなければ、本研究を推進することはできませんでした。

本研究の成果が、今後のPTA活動や地域と学校の連携の一助となることを願うとともに、引き続き、子どもたちの健全な育成に向けて、学校・家庭・地域が一体となった取り組みが発展していくことを期待しております。

最後に、本研究に携わってくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

研究推進委員長（栃木市PTA連合会長）

熊倉 弘之

令和5・6年度 研究PTA紀要

発行元：栃木市PTA連合会

【連絡先】

栃木市PTA連合会事務局

栃木市教育員会事務局生涯学習課

〒328-8686

栃木県栃木市万町9-25

電話 0282-24-2488

Mail gakusyu@city.tochigi.lg.jp

栃木市



とちぎ未来

アシストネット

とちぎ未来アシストネットとは・・・

子どもを核とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の根幹をなすものです。

学校支援ボランティアに参加してみませんか！

できることをできるときに あなたの力を学校で生かしてみましょう

★メールやプリントで、ボランティアの内容や日時などをお知らせします。

★都合のよい時だけでもOK！ 気軽に参加できます。

★保護者の方々同士で声を掛け合い、ぜひ一度参加してみてください。



保護者の皆さん



メール(さくら連絡網)やプリントで募集・依頼！

ボランティアへLet's Go!



地域の皆さん

地域コーディネーターをとおして依頼！

地域コーディネーター

小・中学校



学校コーディネーター
(先生)

※学校は、必要に応じて公民館へ相談します！

主な保護者のボランティア活動例

【安全・見守り】

- ・登下校の見守りや付添い
- ・校外学習(まちたんけん等)の引率補助
- ・昼休みの校庭見守り
- ・持久走大会の走路安全確認 など



子どもたちから「ありがとう」と言われると、とてもやりがいを感じます。



【学習活動の支援】

- ・かけ算九九の学習支援
- ・ミシン操作の補助・支援
- ・タブレット操作の補助・支援
- ・カッター・彫刻刀の使い方支援 など



普段は見られない学校での子ども様子を間近で見ることができ、成長を実感しました。



【環境整備・美化】

- ・花壇や樹木の手入れ、除草作業
- ・図書室の本の修繕
- ・校内ディスプレイの作成
- ・給食白衣の修繕 など



子どもが「学校に来てくれるのが嬉しい!」と言ってくれて、参加してよかったと思いました。



【PTA活動と連携した活動】

- ・除草、校内清掃、遊具のペンキ塗り
- ・リサイクル品等の資源物回収
- ・学校行事での運営補助
- ・地域のイベントの運営補助



地域のボランティアの方とも交流でき、地域全体で子どもを育てる大切さを実感しました。



アシストネットの効果!!

【児童・生徒にとって】

- ・教育活動が充実し、学習意欲の向上が期待できます。
- ・見守り等により、登下校や昼休みの安全が確保されます。
- ・校庭や校舎周辺が整備されよりよい教育環境になります。
- ・多くの大人からほめられることで、自信につながります。

【保護者にとって】

- ・子どもたちの頑張りや成長を直接見ることができます。
- ・先生と話しやすくなり、子どもの相談がしやすくなります。
- ・他の保護者との繋がりができ、子育ての悩みを共有できます。
- ・コミュニケーション力の向上や子どもたちとの接し方を学べます。

問い合わせは、生涯学習課まで (0282-21-2488)

令和7年3月 栃木市教育委員会・栃木市PTA連合会発行

栃木市

とちぎ未来

アシストネット

○とちぎ未来アシストネットとは・・・

子どもを核とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の根幹をなすものです。

学校支援ボランティアに参加してみませんか！

自分の知識や経験を生かしてみましょう

- 特技や学んできたことを生かしたい
- 学校のために役に立ちたい
- 花が好きなので花壇の整備を手伝いたい
- 子どもたちの学びを支援したい
- 読み聞かせを通して本を好きにさせたい・・・

ボランティア活動へ



小・中学校

まずは、お近くの公民館
にご相談ください。

相談



地域コーディネーター
は、地域の皆さんの思い
を学校に伝えたり、学校
のニーズを地域の皆さん
に伝えたりします。

連絡・相談

地域コーディネーター

連絡・相談

学校コーディネーター
(先生)

地域・保護者の皆さん

★学校が必要とする支援内容をもとに、地域コーディネーターからボランティアの日時や具体的な活動などをお知らせします。

★特に資格は必要ありません。都合のよい時だけでもOK！ 気軽に参加できます！

★ボランティア名簿に登録することで、もしもの時に傷害保険が適用されます。

主な学校支援ボランティア活動例

【安全・見守り】

- ・登下校の見守りや付添い
- ・校外学習(まちたんけん等)の引率補助
- ・昼休みの校庭見守り
- ・持久走大会の走路安全確認 など



子どもたちがさわやかなあいさつしてくれるのが嬉しく、いつも元気をもらっています。



【学習活動の支援】

- ・読み聞かせ
- ・ミシン操作の補助・支援
- ・部活動・クラブ活動の支援や補助
- ・伝統文化体験(茶道・華道) など



自分の関わりが子どもたちの学びや成長につながっていると思うと、やりがいを感じます。



【環境整備・美化】

- ・花壇や樹木の手入れ、除草作業
- ・学校農園の整備
- ・図書室の本・給食白衣の修繕
- ・校内ディスプレイの作成



最初は不安でしたが、実際にやってみるととても楽しく、また参加したいと思いました。



【PTA活動と連携した活動】

- ・除草、校内清掃、遊具のペンキ塗り
- ・リサイクル品等の資源物回収
- ・学校行事やPTA祭での運営補助
- ・地域のイベントの運営補助



先生や保護者の方々と交流する機会が増え、地域とのつながりも深まりました。



アシストネットの効果!!

【児童・生徒にとって】

- ・教育活動が充実し、学習意欲の向上が期待できます。
- ・見守り等により、登下校や昼休みの安全が確保されます。
- ・校庭や校舎周辺の整備され、よりよい教育環境になります。
- ・多くの大人からほめられることが自信につながります。

【地域のボランティアの方にとって】

- ・自身のもっているスキルや生涯学習の成果を生かすことができます。
- ・子どもたちと触れ合い、元気や活力をもらえます。
- ・他の地域のボランティアの方々や保護者と知り合うことで、交流の輪が広がります。
- ・ボランティア活動の経験が、新たな社会参加の一步を踏み出すきっかけになります。

「とちぎ未来アシストネット」に関する問い合わせ

○生涯学習課	21-2488	○栃木公民館	24-0352	○大宮公民館	27-0073
○皆川公民館	22-1812	○吹上公民館	31-1792	○寺尾公民館	31-0002
○国府公民館	27-3002	○大平公民館	43-5231	○藤岡公民館	62-4321
○都賀公民館	27-5050	○西方公民館	92-0316	○岩舟公民館	55-2500



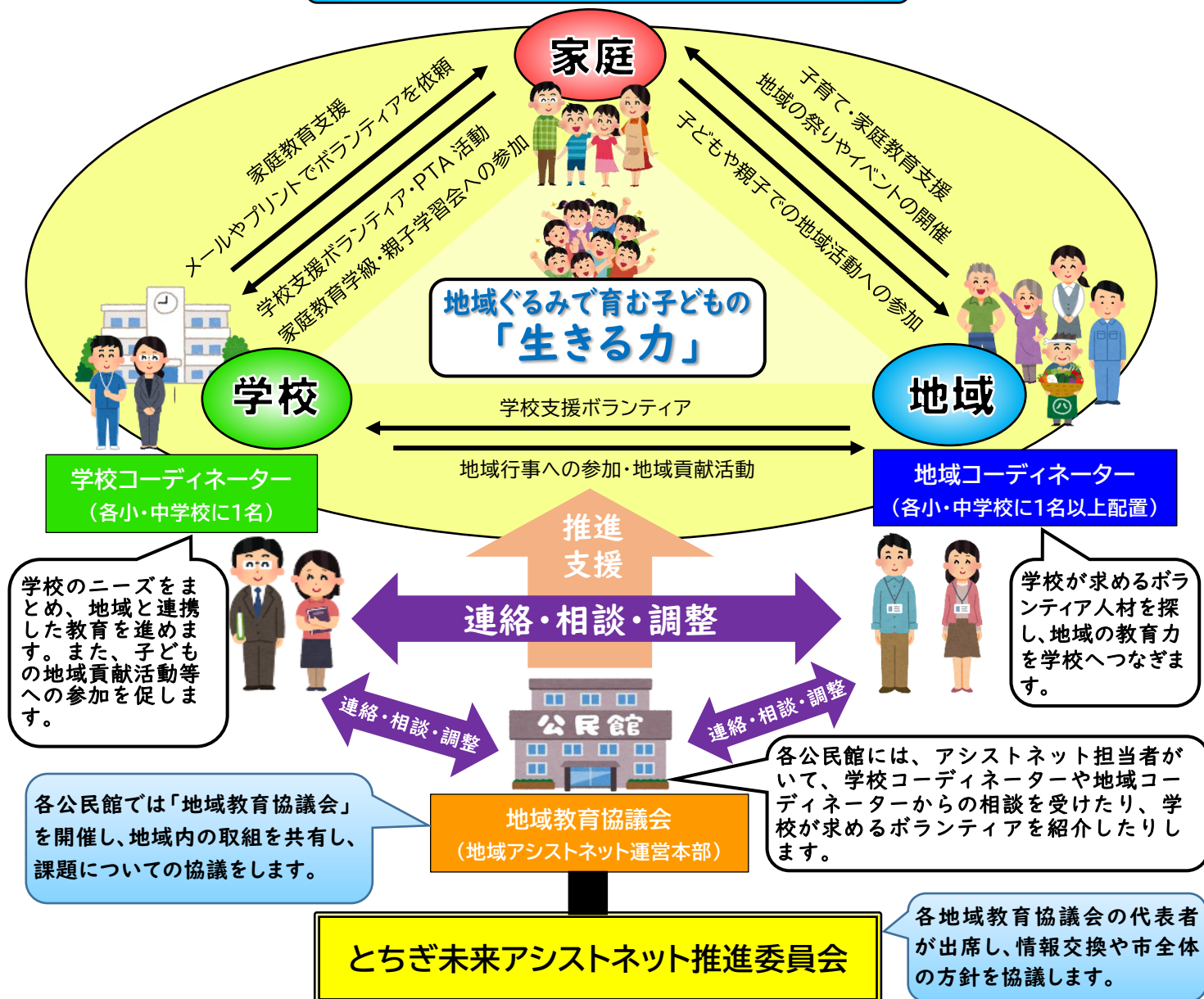
とちぎ未来アシストネット

とちぎ未来アシストネット事業とは、子どもを核とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事業です。地域ぐるみで子どもの「生きる力」を育むこの事業は、本市教育の根幹となるものです。

とちぎ未来アシストネットの主な内容

- (1) 地域住民や保護者による学校支援ボランティア活動を推進することで、子どもの安全・安心の確保、教育活動の充実、教育環境の整備を図ります。【地域から学校へ】
- (2) 地域ネットワークを活用して、子どもたちの地域行事への参加や地域貢献活動を推進します。【学校から地域へ】

とちぎ未来アシストネットのしくみ



地域から学校へ

各学校で多くの学校支援ボランティアの方が活躍しています！

活動の形態	主な活動内容例
【安全・見守り】 子どもの安全・安心の確保	○登下校時の見守り及び付添い ○通学路の安全確認や危険箇所点検 ○まちたんけん等の校外学習の見守り ○交差点での立哨 ○昼休みの校庭見守り ○学校行事等での見回り
【補助・支援】 教育活動の充実	○教科や総合的な学習の時間の指導支援や学習補助 (かけ算九九聞き取り、カッター操作の補助、茶道・華道の伝統文化体験など) ○学校行事の支援 ○部活動・クラブ活動等の支援や補助 ○読み聞かせ ○教材作成 ○放課後の補充学習
【環境整備・美化】 教育環境の整備	○緑化活動(花壇の手入れなど) ○校庭や樹木等の整備(除草、害虫駆除、剪定など) ○校内のディスプレイ作成 ○給食用白衣の修繕 ○資源物回収 ○ビオトープの管理

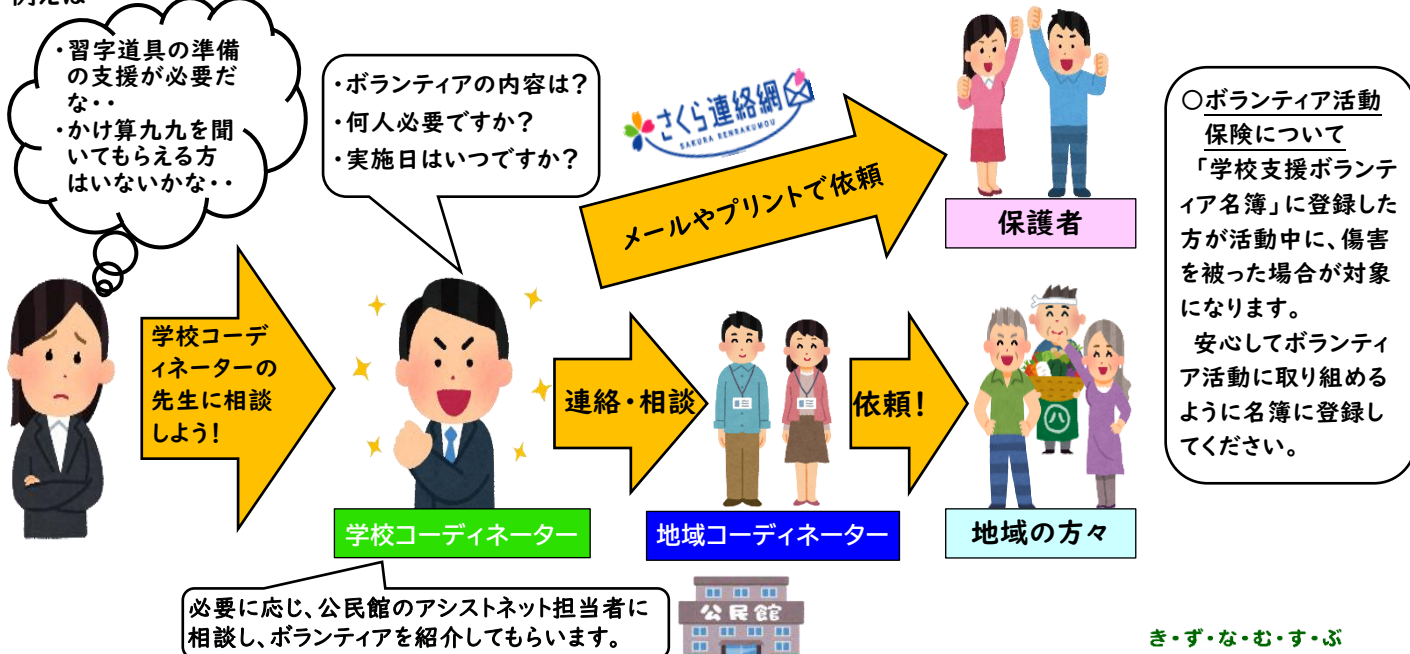
学校から地域へ

子どもたちによる地域参加や地域貢献活動を推進しています！

分野	主な活動内容例
学校が計画した活動	○地域の公園の落ち葉掃き ○通学路のプランター植物の水やり ○駅での観光案内 ○高齢者福祉施設への訪問(高齢者とのふれあい、車いすの清掃) ○資源物回収 ○地域のイベントのうちわ配り ○吹奏楽部の地域での演奏会
地域が計画した活動	○避難所体験 ○リサイクル品回収活動 ○クリーン作戦 ○地域のイベントで吹奏楽部の演奏披露 ○花いっぱい活動 ○高齢者福祉施設の行事の支援 ○地域行事での運営スタッフ ○独居老人宅に年賀状・絵手紙作成 ○とちぎまつりに参加

学校支援ボランティアはこのような流れで依頼しています！

例えば・・・



栃木市教育委員会 令和7年3月発行

お問い合わせは、生涯学習課(電話:0282-21-2488)

き・ず・な・む・す・ぶ

